

第4章

独自設問の分析結果

第4章 独自設問の分析結果

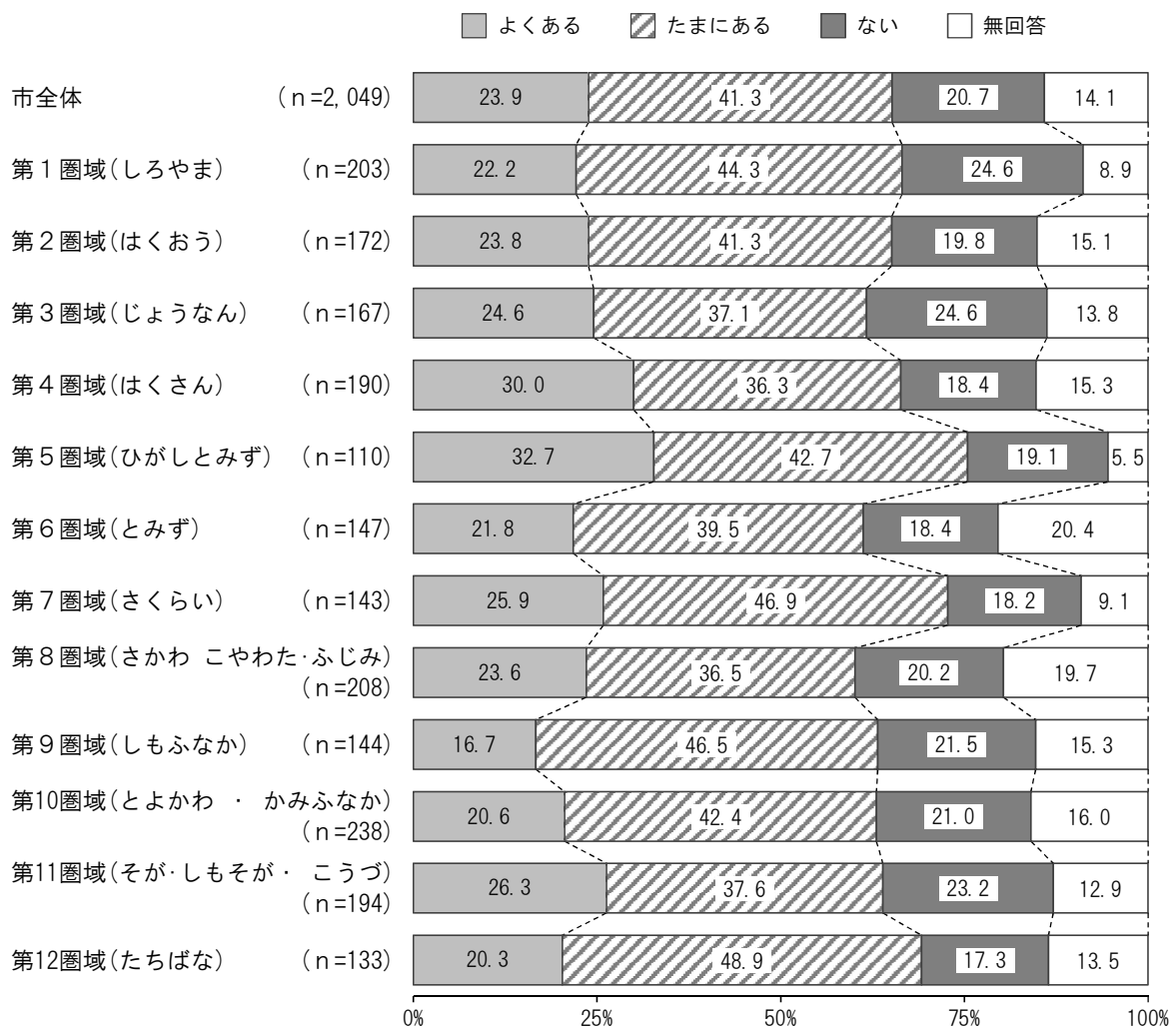
1 家族や生活状況について

1-問1-2 (家族などと同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか。

日中一人になることの有無は、市全体で「よくある」が23.9%、「たまにある」が41.3%となり、両者合わせて65.2%が『ある』と回答しています。

日常生活圏域別にみると、『ある』は、第5圏域（ひがしとみず）で75.4%、第7圏域（さくらい）で72.8%、第12圏域（たちばな）で69.2%と高くなっています。

図 4.1 日中一人になることの有無（日常生活圏域別）

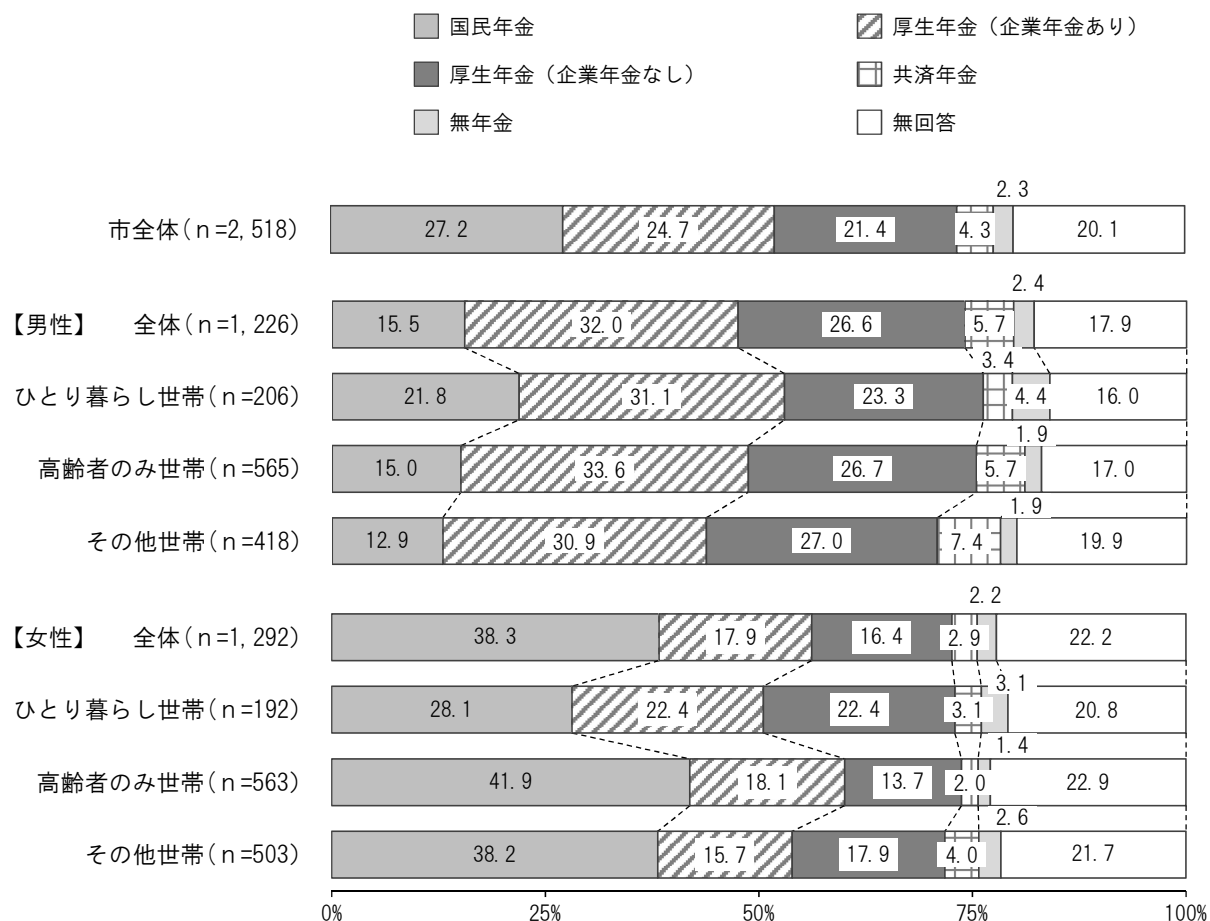


1 問2 年金の種類は次のどれですか。※企業年金とは、勤めていた会社からの年金のことです

年金の種類は、市全体で「国民年金」が27.2%、「厚生年金（企業年金あり）」が24.7%、「厚生年金（企業年金なし）」が21.4%となっています。

性別・家族構成別にみると、「国民年金」は男性より女性の割合が高く、男性はひとり暮らし世帯が21.8%と、他の家族構成と比べて高くなっています。

図 4.2 年金の種類（性別・家族構成別）

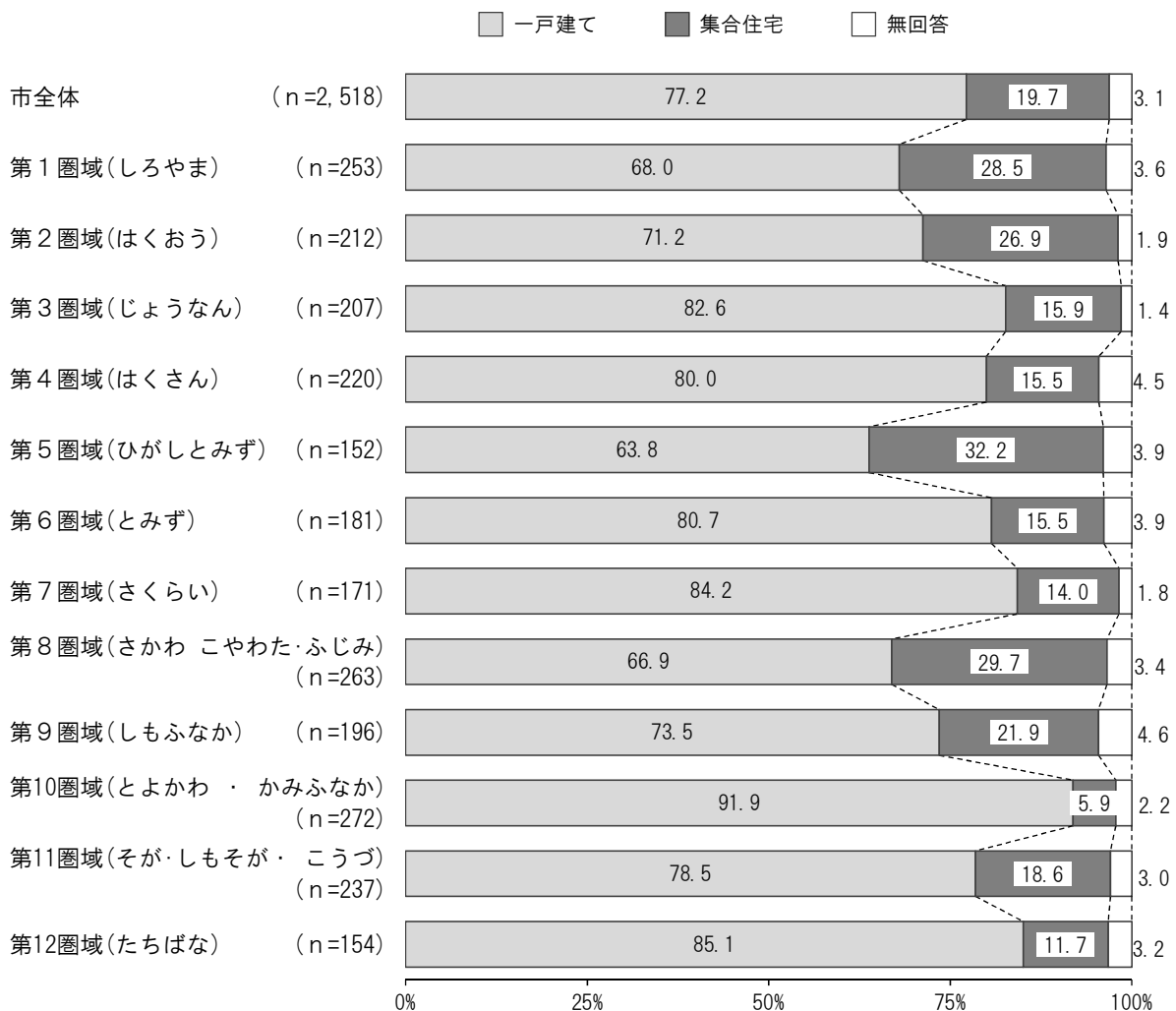


1 問3 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

居住形態は、市全体で「一戸建て」が77.2%、「集合住宅」が19.7%となっています。

日常生活圏域別にみると、「一戸建て」は第10圏域（とよかわ・かみふなか）で91.9%、第12圏域（たちばな）で85.1%と高く、「集合住宅」は第5圏域（ひがしとみず）で32.2%、第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）で29.7%と高くなっています。

図 4.3 居住形態（日常生活圏域別）

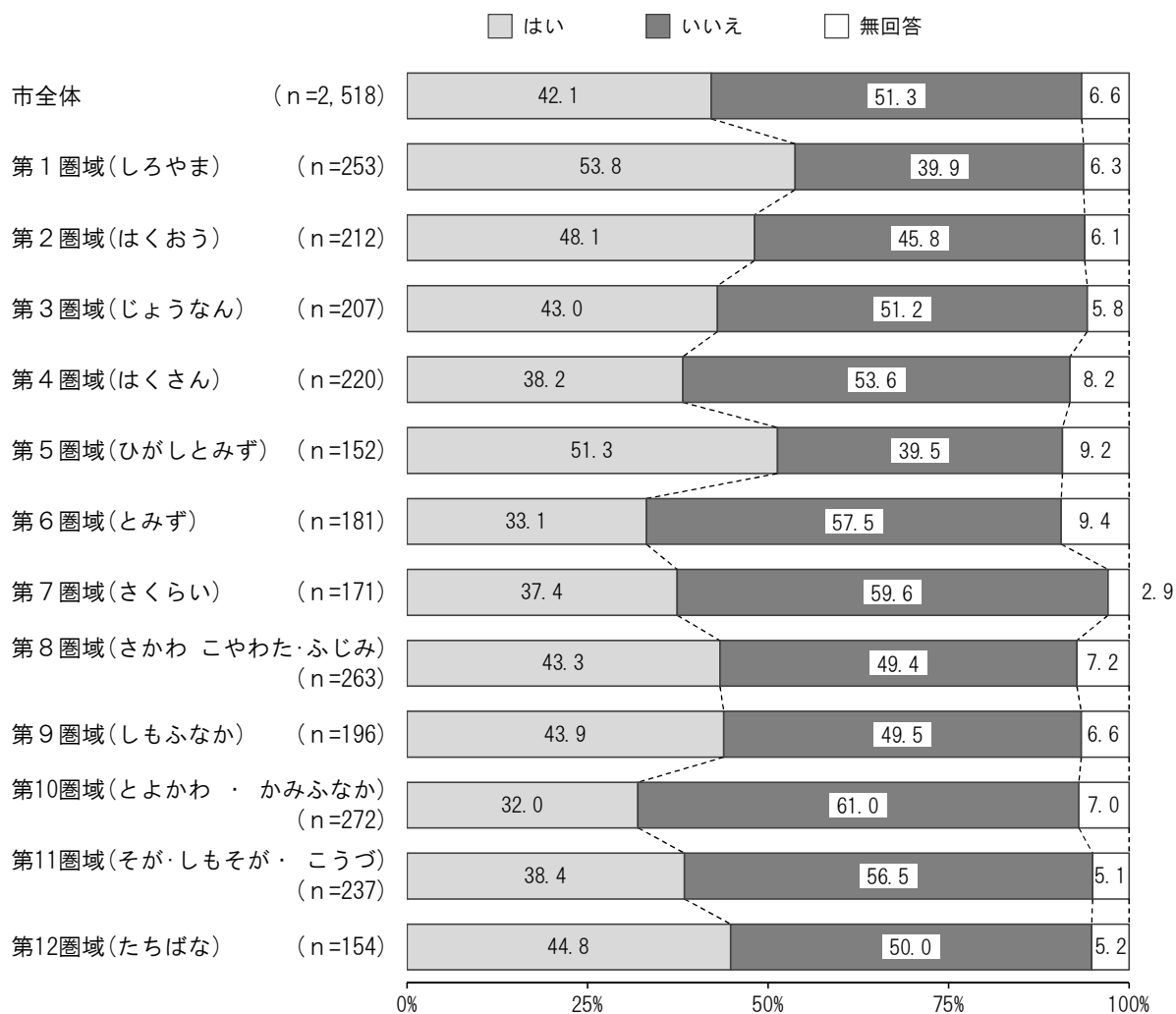


1 問4 お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか。

主に生活する部屋が2階以上にある割合は、市全体で42.1%となっています。

日常生活圏域別にみると、生活する部屋が2階以上にある割合は、第1圏域（しろやま）で53.8%、第5圏域（ひがしとみず）で51.3%、第2圏域（はくおう）で48.1%と高くなっています。

図 4.4 主に生活する部屋が2階以上（日常生活圏域別）



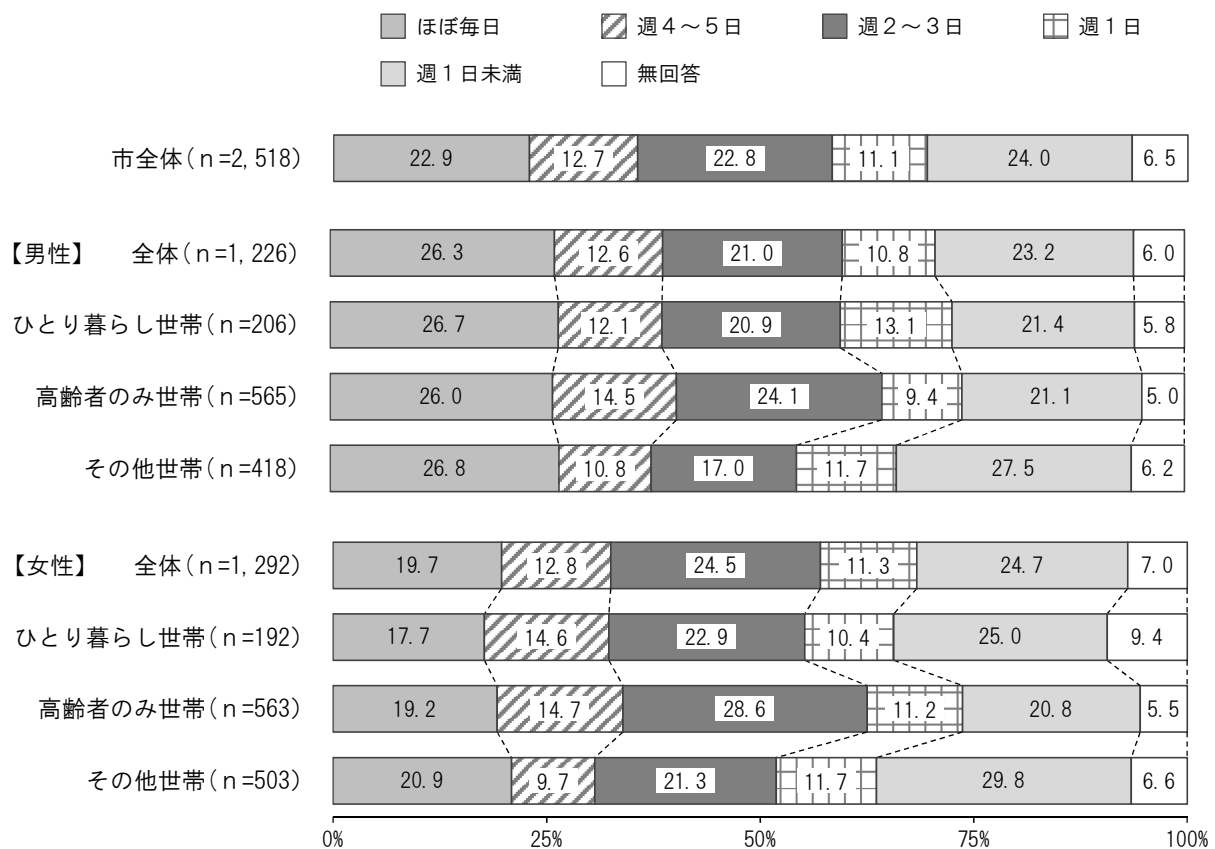
2 運動・閉じこもりについて

2-問5 散歩で外出をする頻度はどれくらいですか。

外出頻度は、市全体では「週1日未満」が24.0%、続いて「ほぼ毎日」が22.9%となっています。

性別・家族構成別にみると、「週1日未満」は「高齢者のみ世帯」を除いて女性の割合が男性を上回っています。また、女性の「その他世帯」の割合が29.8%と、他の家族構成と比べて最も高くなっています。

図 4.5 外出頻度（性別・家族構成別）

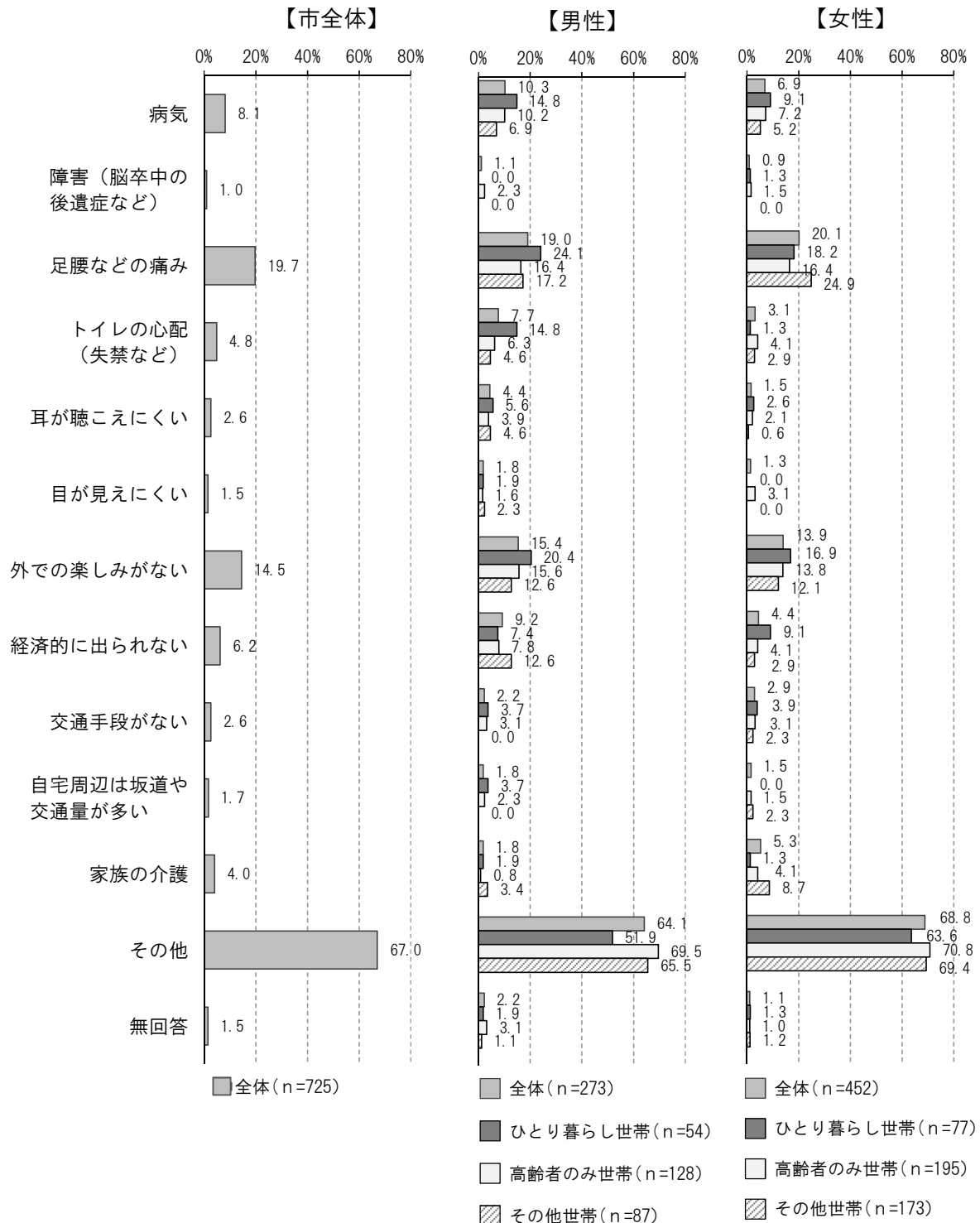


2-問7 (昨年と比べて外出の回数が減っている方のみ)

外出の回数が減っている理由はなんですか。※〇はいつでも

外出が減った理由を市全体でみると、「足腰などの痛み」が19.7%で最も高く、次いで「外での楽しみがない」が14.5%となっています。性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯で「足腰などの痛み」が24.1%、「外での楽しみがない」が20.4%と高く、女性のその他世帯で「足腰などの痛み」が24.9%と最も高くなっています。

図 4.6 外出が減った理由（性別・家族構成別）



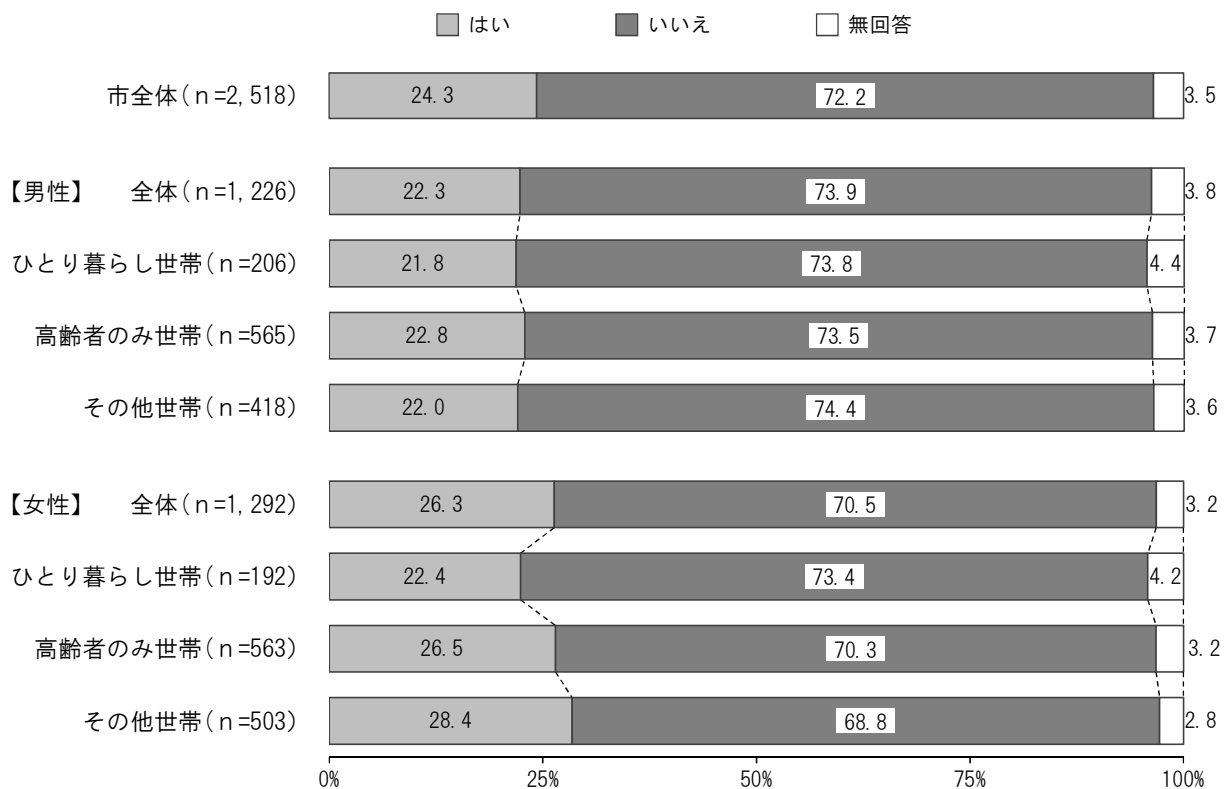
3 転倒について

3-問3 背中が丸くなってきましたか。

背中が丸くなってきたと回答した割合は、市全体で24.3%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性は高齢者のみ世帯が22.8%、女性はその他世帯が28.4%と最も高くなっています。

図 4.7 背中の状態（性別・家族構成別）

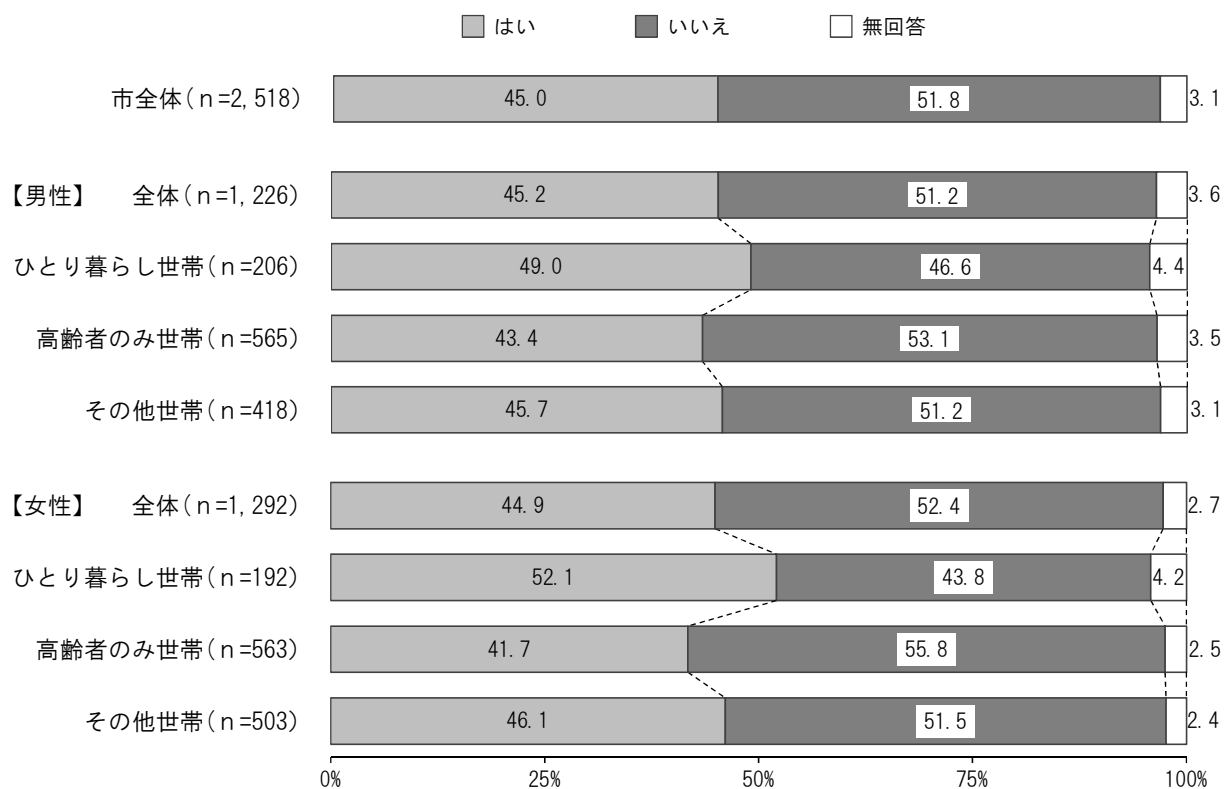


3-問4 以前に比べて歩く速度が遅くなってきましたか。

歩く速度が遅くなってきましたと回答した割合は、市全体で45.0%となっています。

性別・家族構成別にみると、歩く速度が遅くなった人の割合は男女ともに、ひとり暮らし世帯が最も高くなっています。

図 4.8 歩く速度の変化（性別・家族構成別）

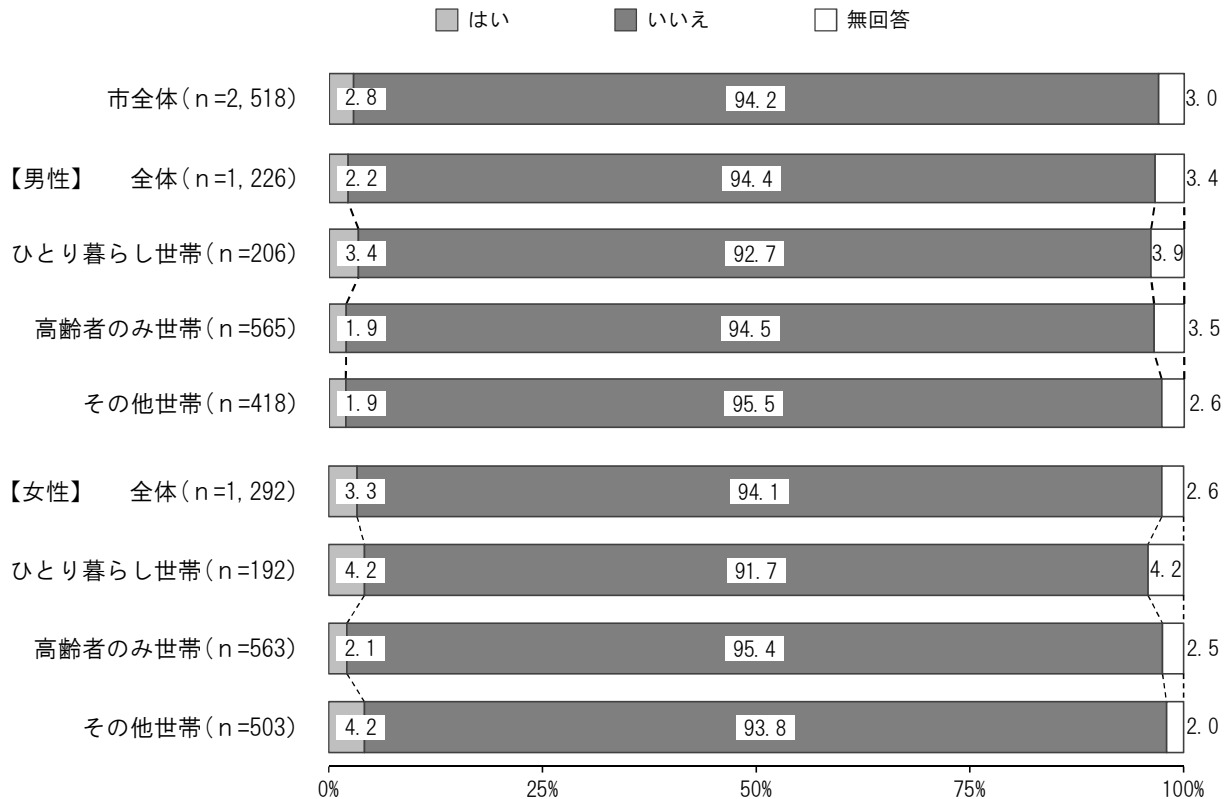


3-問5 杖を使っていますか。

杖を使っていると回答した割合は、市全体で2.8%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性はひとり暮らし世帯が3.4%、女性はひとり暮らし世帯とその他世帯が4.2%とやや高くなっています。

図 4.9 杖の使用度（性別・家族構成別）



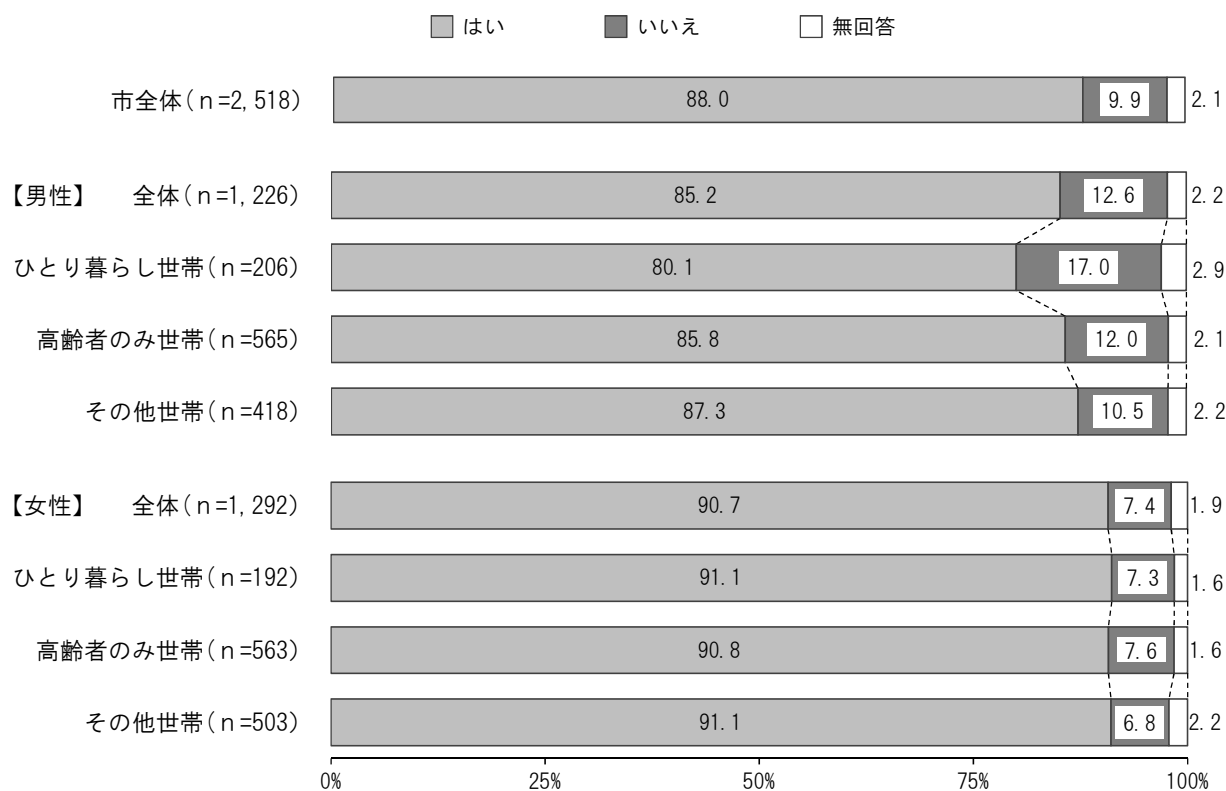
4 物忘れについて

5－問4 5分前のことが思い出せますか。

5分前のことが思い出せないと回答した割合は、市全体で9.9%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯が17.0%、女性の高齢者のみ世帯が7.6%と、他の家族構成と比べて高くなっています。また、すべての家族構成において、男性の割合が女性を上回っています。

図 4.10 5分前の記憶の有無（性別・家族構成別）

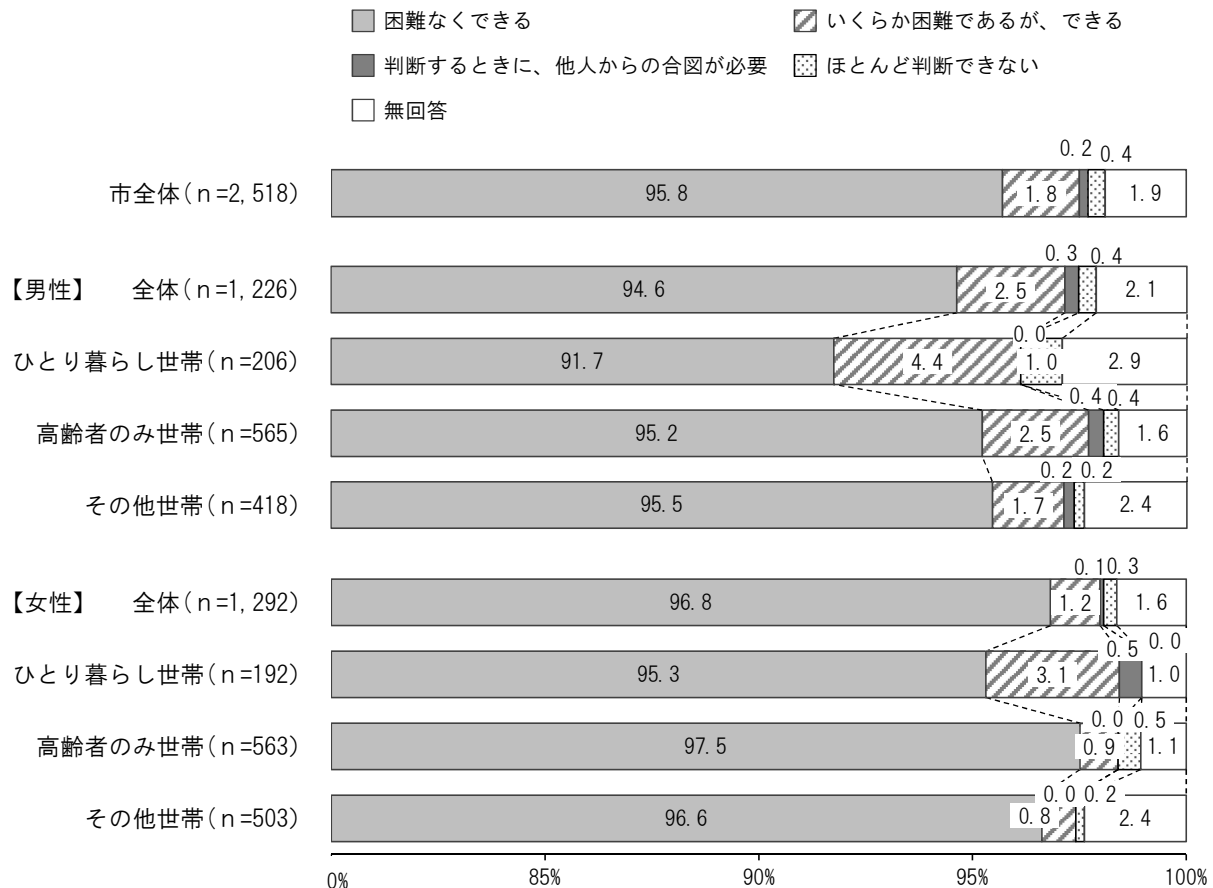


5－問5 その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。

自分で日々の活動の判断ができると回答した割合は、市全体で95.8%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯で「困難なくできる」割合は他の家族構成と比べて低くなっています。

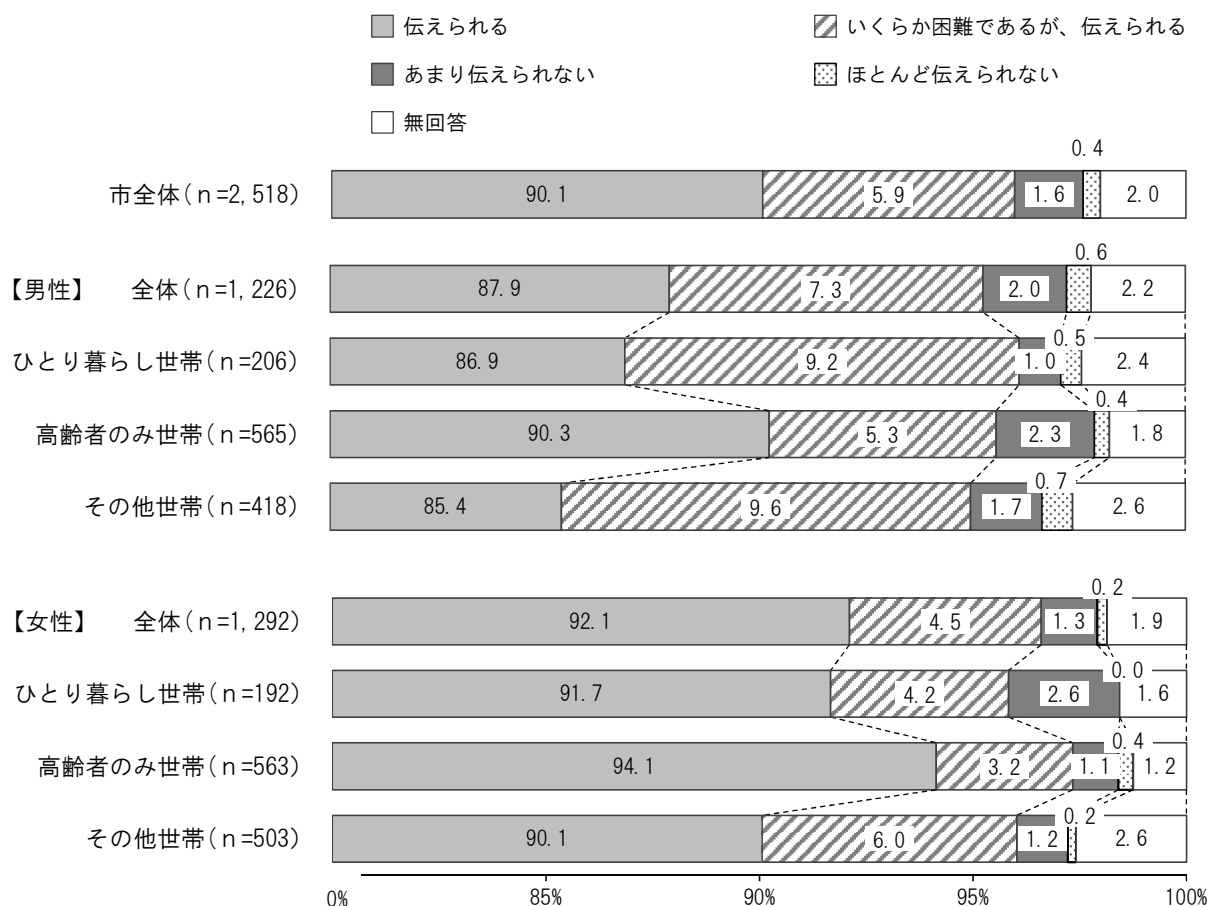
図 4.11 日々の活動の判断の可否（性別・家族構成別）



5-問6 人に自分の考えをうまく伝えられますか。

人に自分の考えを「伝えられる」と回答した割合は、市全体で90.1%となっています。
性別・家族構成別にみると、「伝えられる」の割合は、すべての家族構成において女性の方が男性より高くなっています。また、男女ともにその他世帯の「伝えられる」の割合が他の家族構成と比べて低くなっています。

図 4.12 意思の伝達の可否（性別・家族構成別）



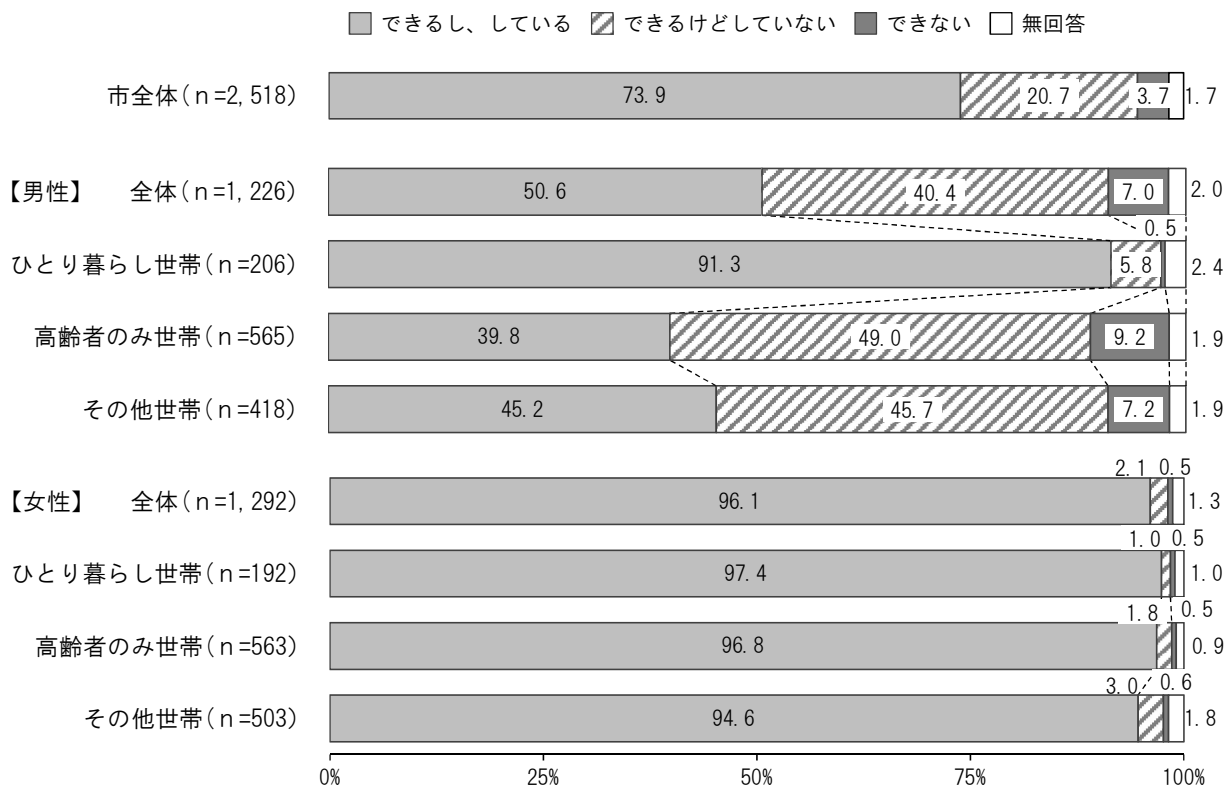
5 毎日の生活について

6 ー問3 自分で食事の用意をしていますか。

自分で食事の用意を「できるし、している」と回答した割合は、市全体で73.9%となっています。「できない」は3.7%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯で「できるし、している」の割合が91.3%と、他の家族構成と比べて高くなっています。一方で、男性の高齢者のみ世帯・その他世帯においては、「できるけどしていない」と「できない」を合わせた割合が5割を超えています。

図 4.13 食事の用意の可否（性別・家族構成別）

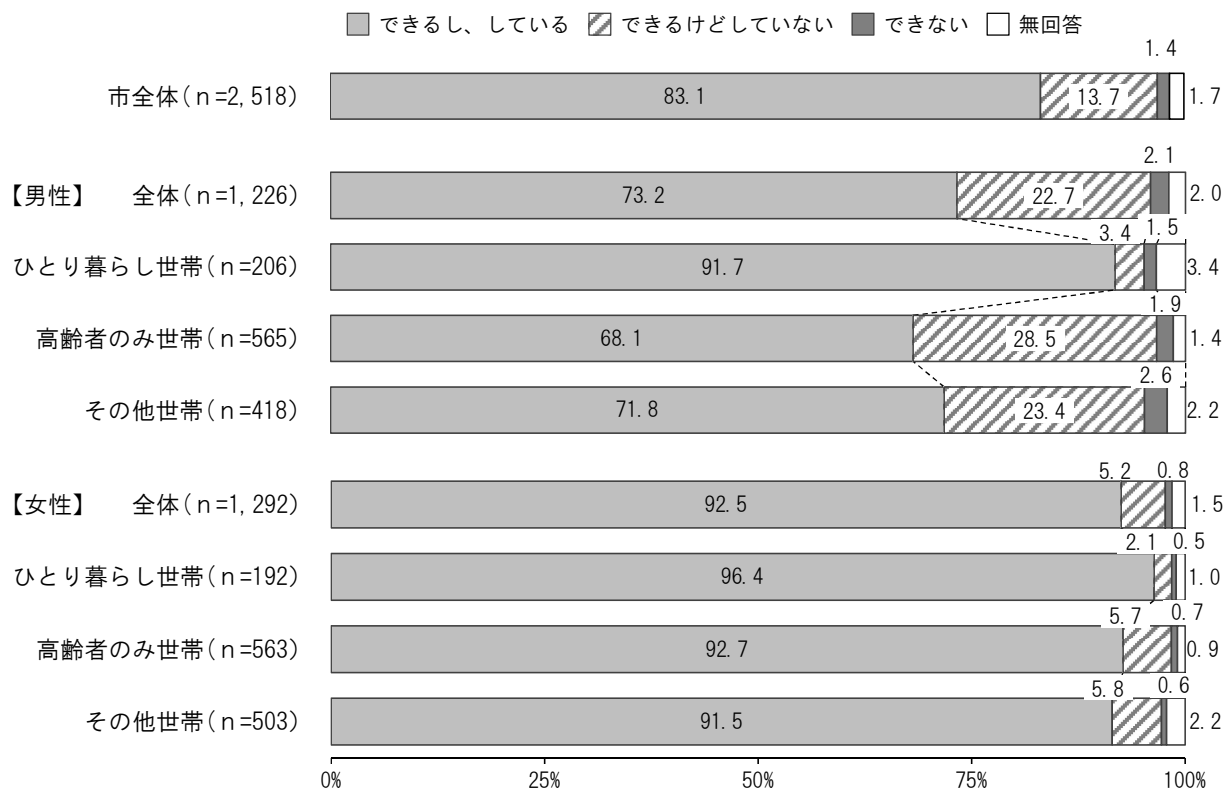


6-問4 請求書の支払いをしていますか。

請求書の支払いが「できるし、している」と回答した割合は、市全体で83.1%となっています。「できない」は1.4%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性の「できるけどしていない」「できない」を合わせた割合は全ての世帯で女性を上回り、高齢者のみ世帯・その他世帯においては約3割となっています。

図 4.14 請求書の支払いの可否（性別・家族構成別）

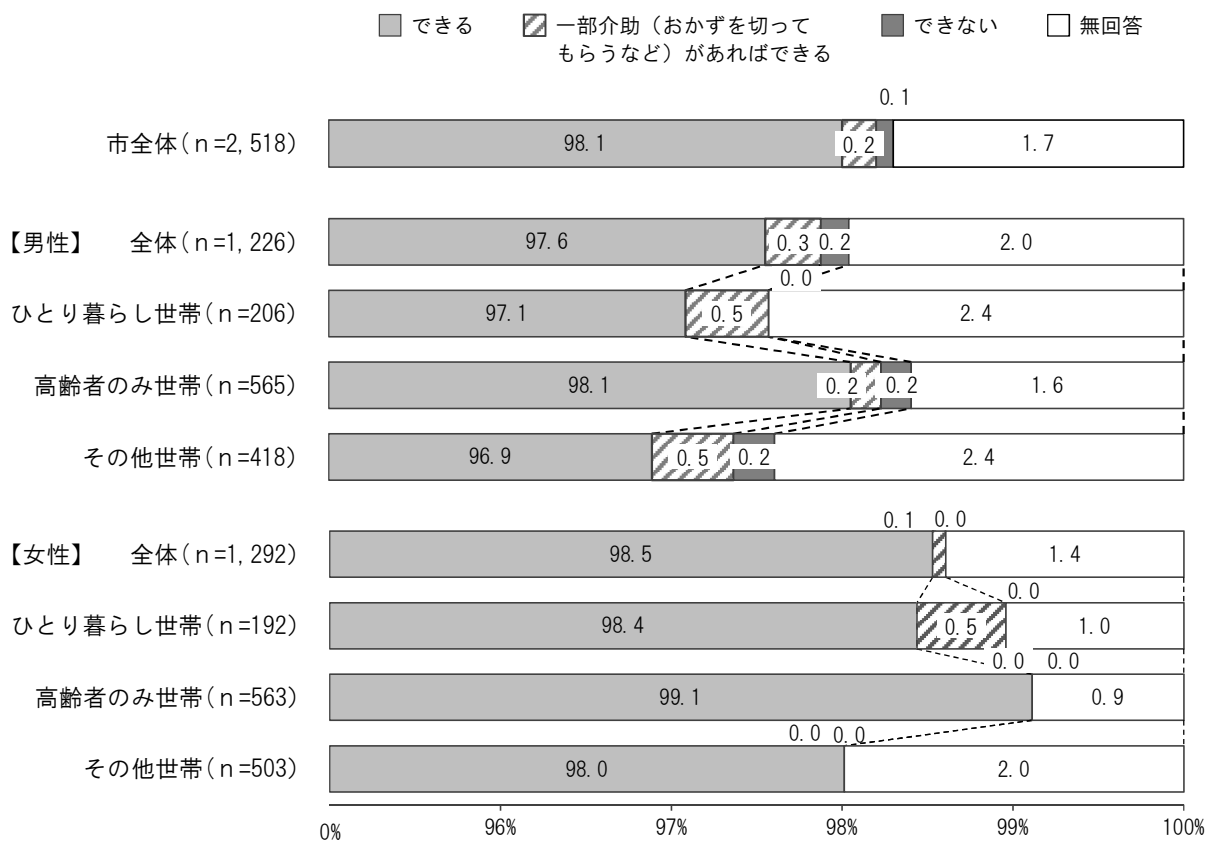


6－問6 食事は自分で食べられますか。

自分で食事が「できる」と回答した割合は、市全体で98.1%と大半を占め、「できない」は0.1%となっています。

性別・家族構成別にみても、「できる」の割合はすべて96%を超えており、大きな差はみられません。

図 4.15 食事能力の有無（性別・家族構成別）

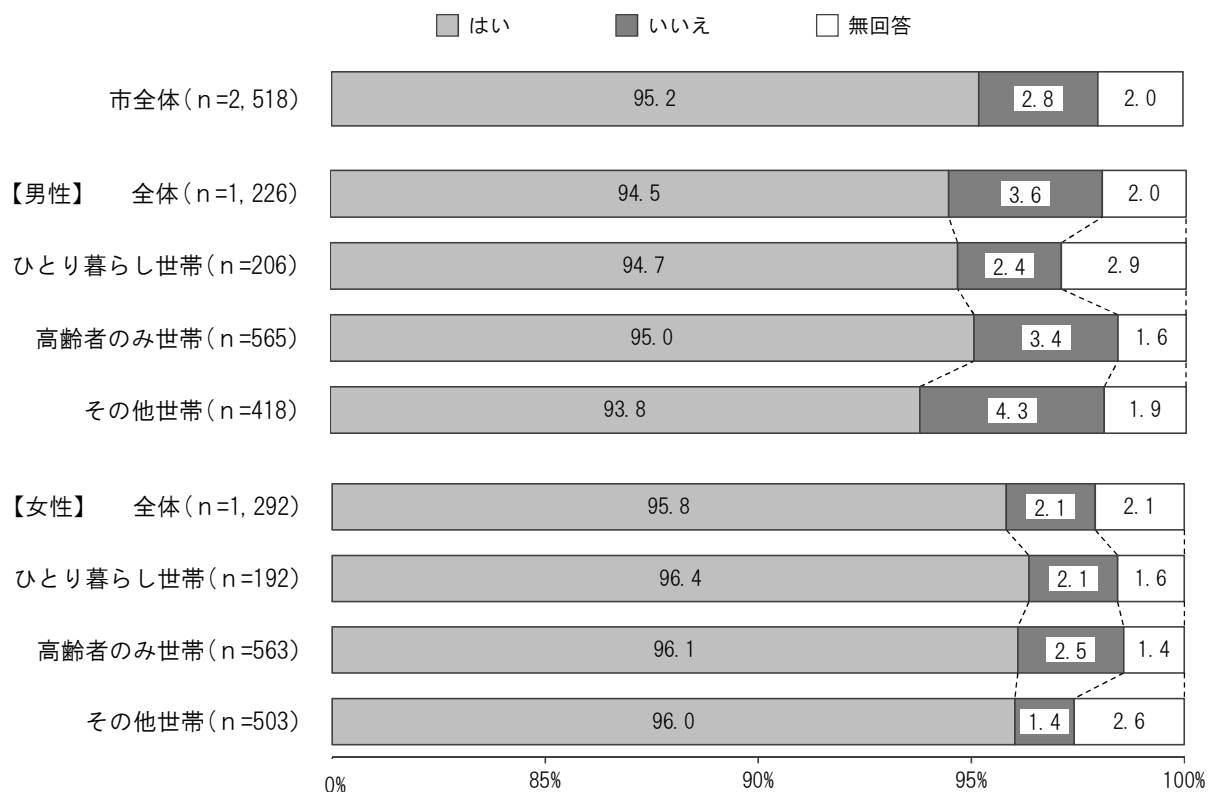


6-問7 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けると回答した割合は、市全体で95.2%、「いいえ」は2.8%となっています。

性別にみると、「はい」は女性の方が男性よりやや高くなっていますが、それぞれ家族構成別にみると、大きな差はみられません。

図 4.16 書類記入能力の有無（性別・家族構成別）

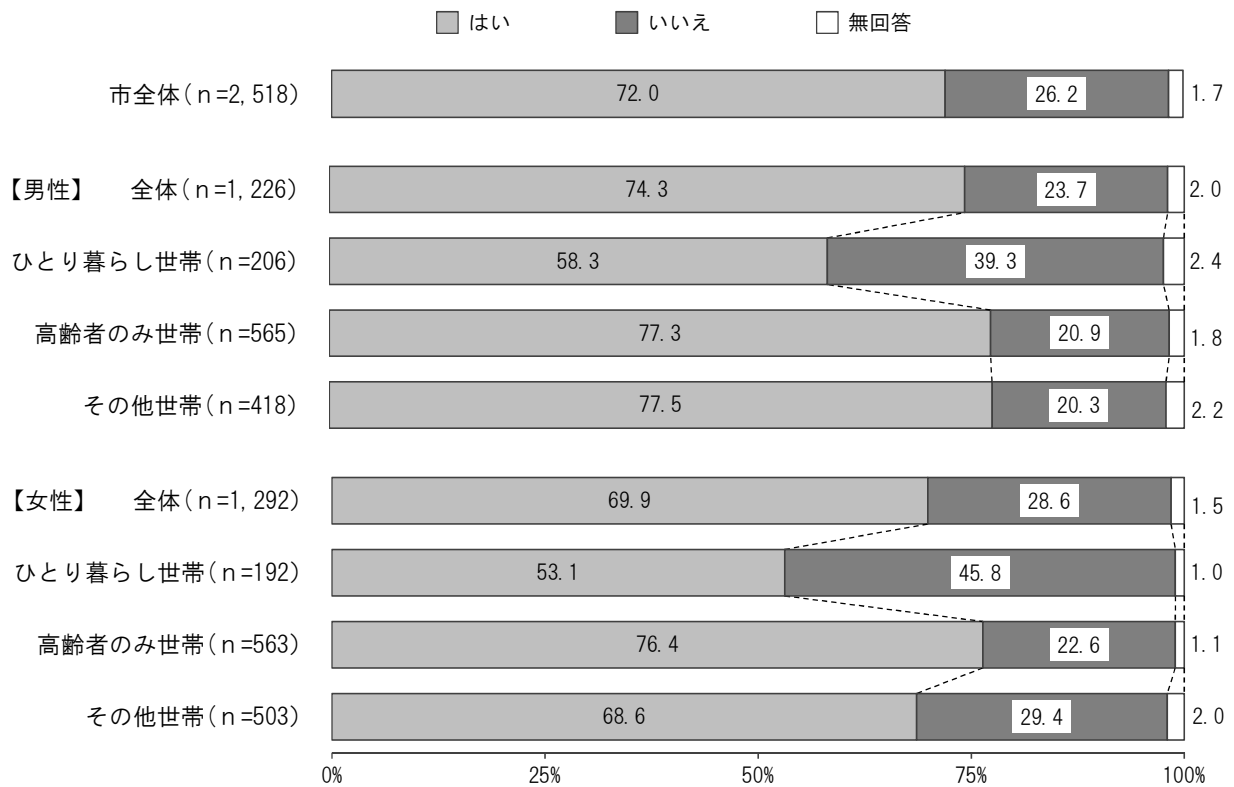


6-問8 新聞を読んでいますか。

新聞を読んでいると回答した割合は、市全体で72.0%、「いいえ」が26.2%となっています。

性別・家族構成別にみると、男女ともにひとり暮らし世帯で「いいえ」の割合が他と比べて高く、男性で39.3%、女性で45.8%となっています。

図 4.17 新聞購読の有無（性別・家族構成別）

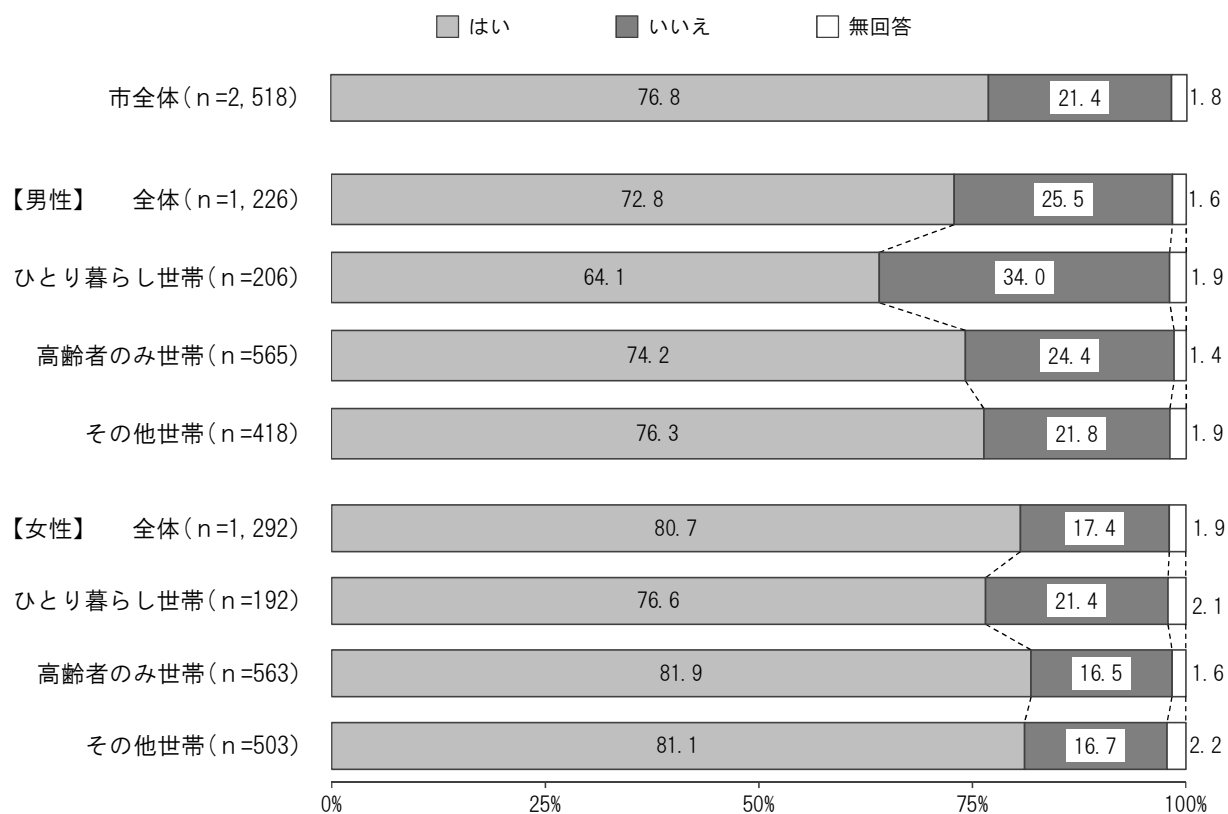


6-問9 本や雑誌を読んでいますか。

本や雑誌を読んでいると回答した割合は、市全体で76.8%、「いいえ」が21.4%となっています。

性別・家族構成別にみると、男女ともにひとり暮らし世帯で「いいえ」の割合が他と比べて高く、男性で34.0%、女性で21.4%となっています。

図 4.18 本や雑誌購読の有無（性別・家族構成別）

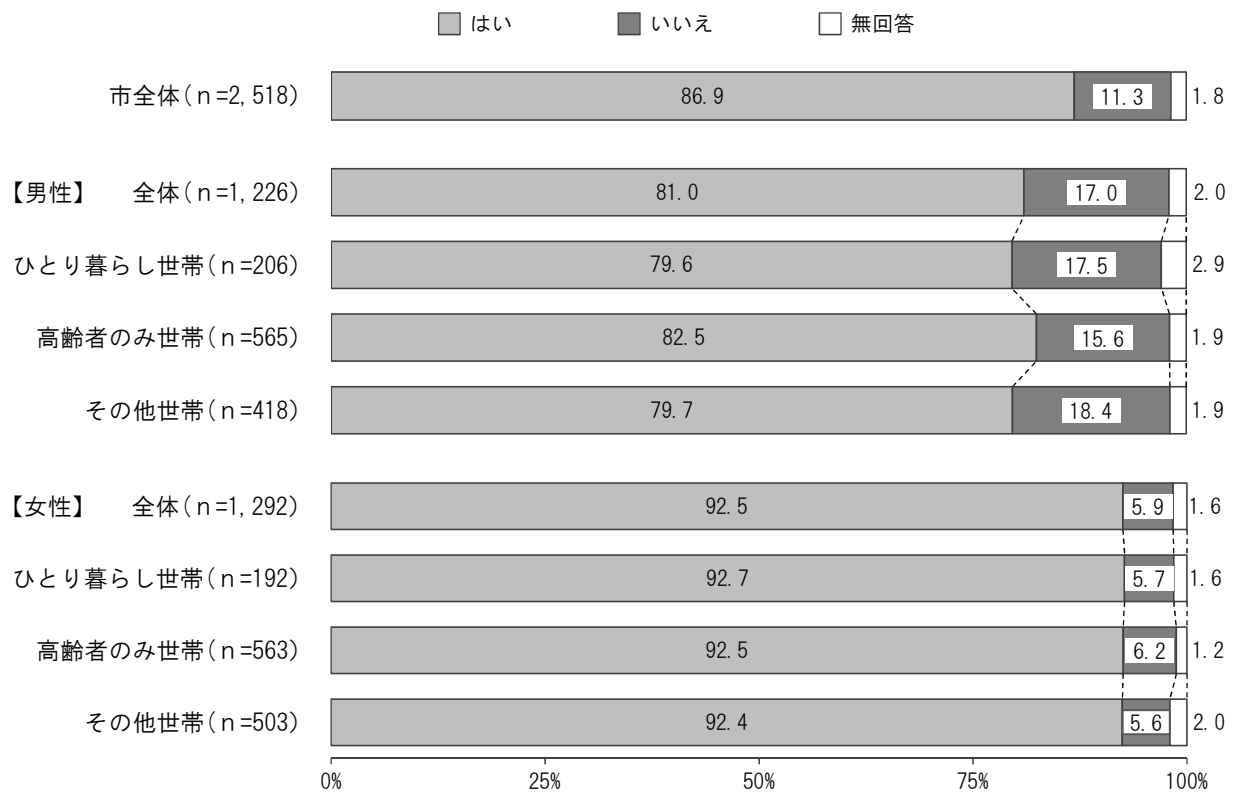


6－問 10 健康についての記事や番組に関心がありますか。

健康についての記事や番組への関心があると回答した割合は、市全体で86.9%、「いいえ」が11.3%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性の「いいえ」の割合はすべての家族構成で女性を上回り、15%を超えています。

図 4.19 健康についての記事や番組の関心の有無（性別・家族構成別）

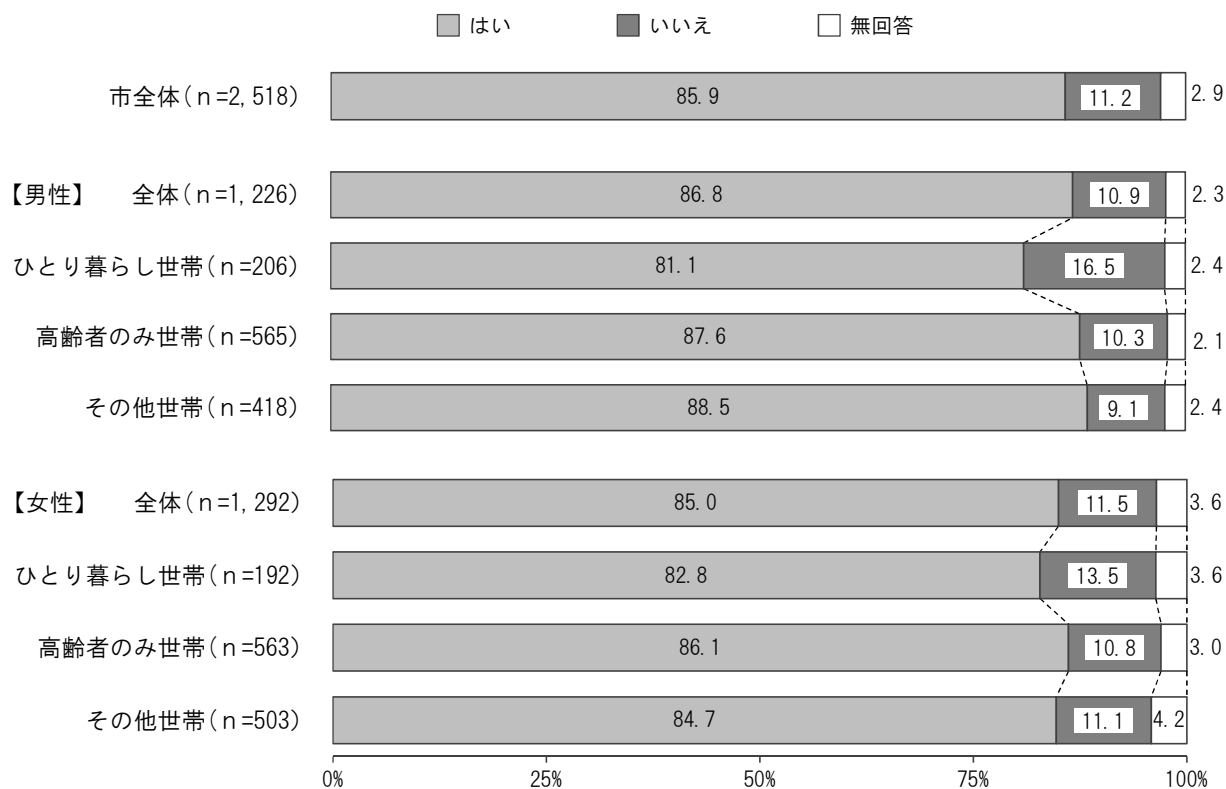


6－問 13 病人を見舞うことができますか。

病人を見舞うことができると回答した割合は、市全体で85.9%、「いいえ」が11.2%となっています。

性別・家族構成別にみると、「いいえ」と回答した割合は、ひとり暮らし世帯は男性が、高齢者のみ世帯とその他世帯では女性が高くなっています。また、ひとり暮らし世帯は、男性が16.5%、女性が13.5%と、男女とも市全体より高くなっています。

図 4.20 病人を見舞うことの有無（性別・家族構成別）

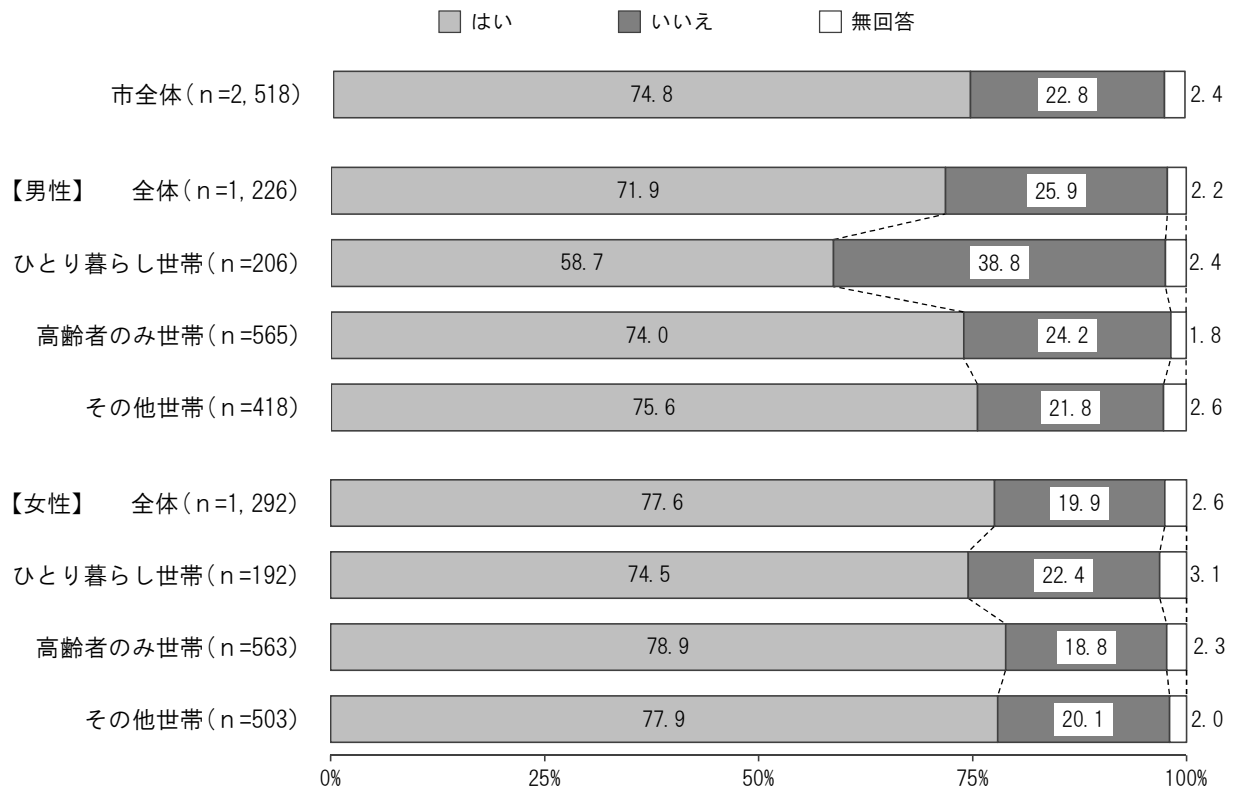


6－問 14 若い人に自分から話しかけることがありますか。

若い人に自分から話しかけることがあると回答した割合は、市全体で74.8%、「いいえ」が22.8%となっています。

性別・家族構成別にみると、「いいえ」の割合はすべての家族構成で男性が女性を上回っています。特に、ひとり暮らし世帯が38.8%と、他の家族構成より10ポイント以上高くなっています。

図 4.21 若い人に話しかけることの有無（性別・家族構成別）



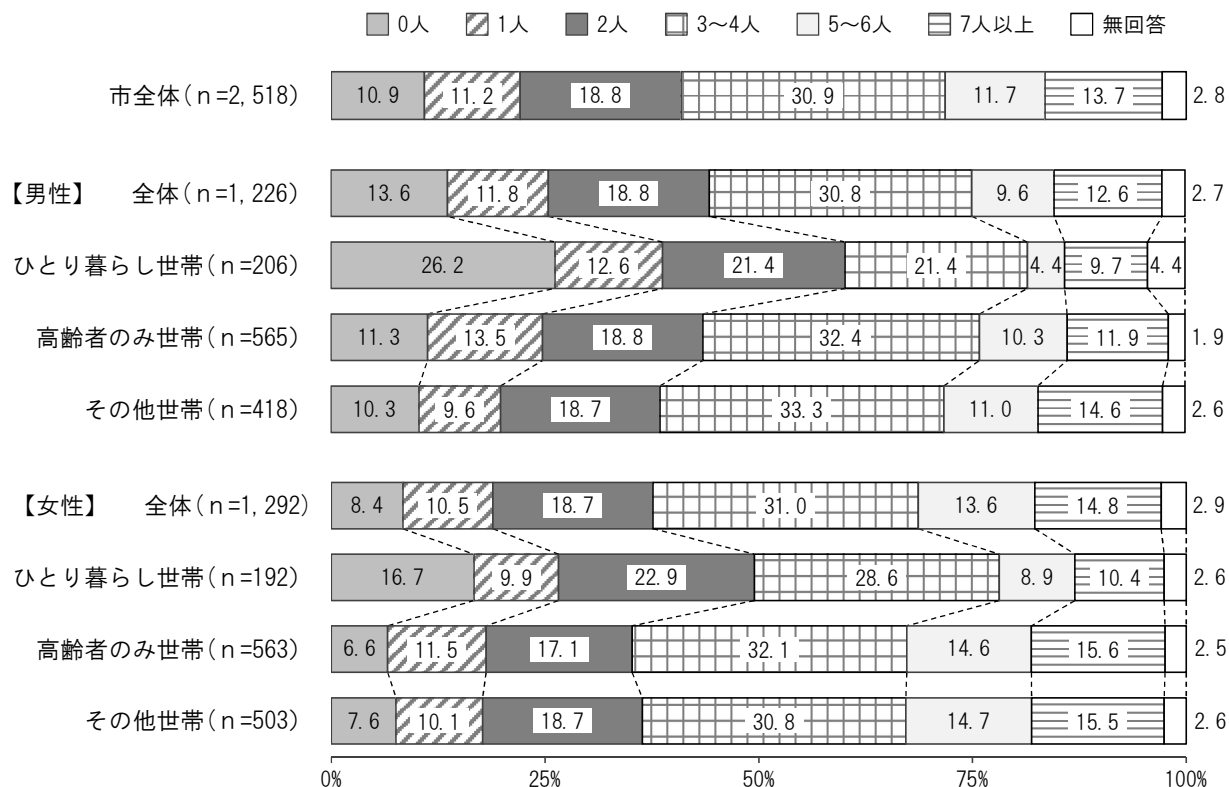
問 15 から問 20 について、あてはまる人数はどのくらいですか。

6－問 15 少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする親戚や兄弟

月に1回、会ったり話をする親戚や兄弟の人数は、市全体では「3～4人」が30.9%で最も高く、次いで「2人」が18.8%、「7人以上」が13.7%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯で「0人」が26.2%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

図 4.22 会ったり話をする親戚や兄弟の人数（性別・家族構成別）

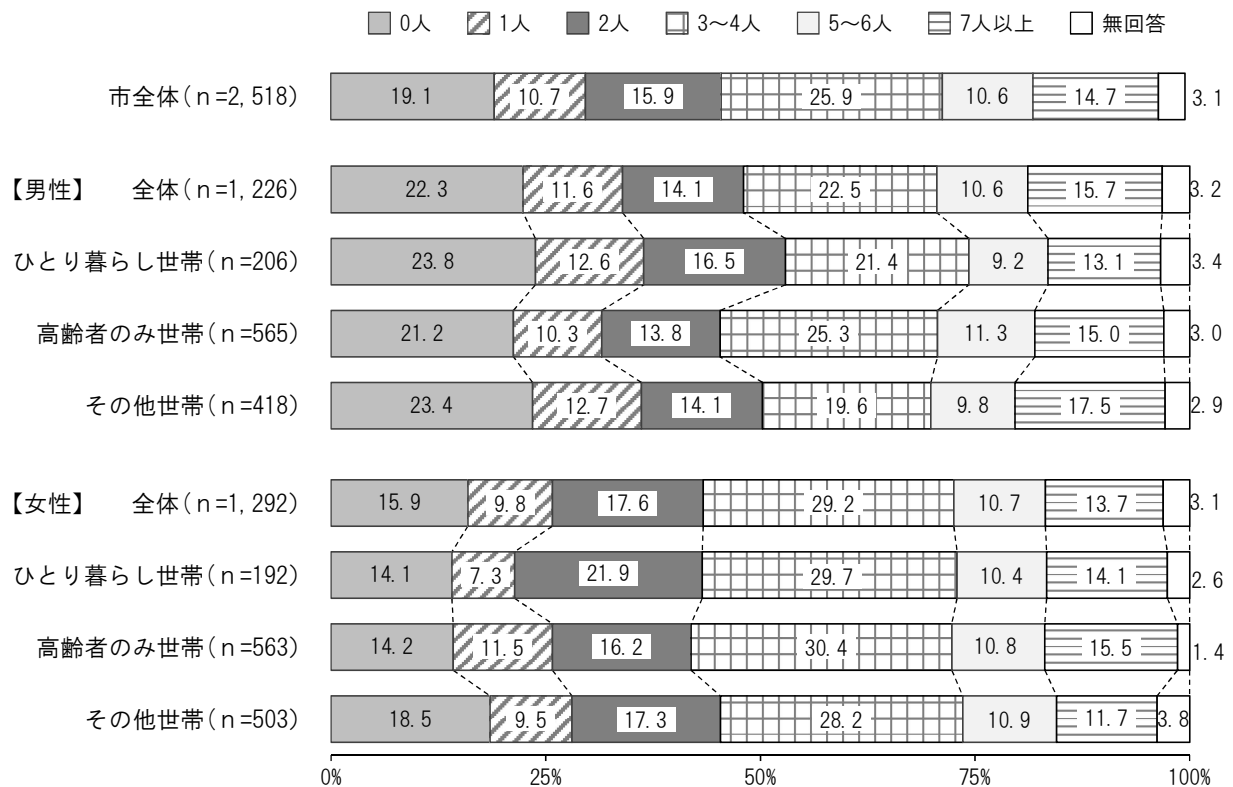


6-問 16 少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする友人

月に1回、会ったり話をする友人の人数は、市全体では「3～4人」が25.9%で最も高く、次いで「0人」が19.1%、「2人」が15.9%となっています。

性別・家族構成別にみると、「0人」はすべての家族構成で男性が女性を上回っています。また、「2人」は男女ともひとり暮らし世帯で他の家族構成と比べて高く、「3～4人」は、すべての家族構成において女性が男性を上回っています。

図 4.23 会ったり話をする友人の人数（性別・家族構成別）

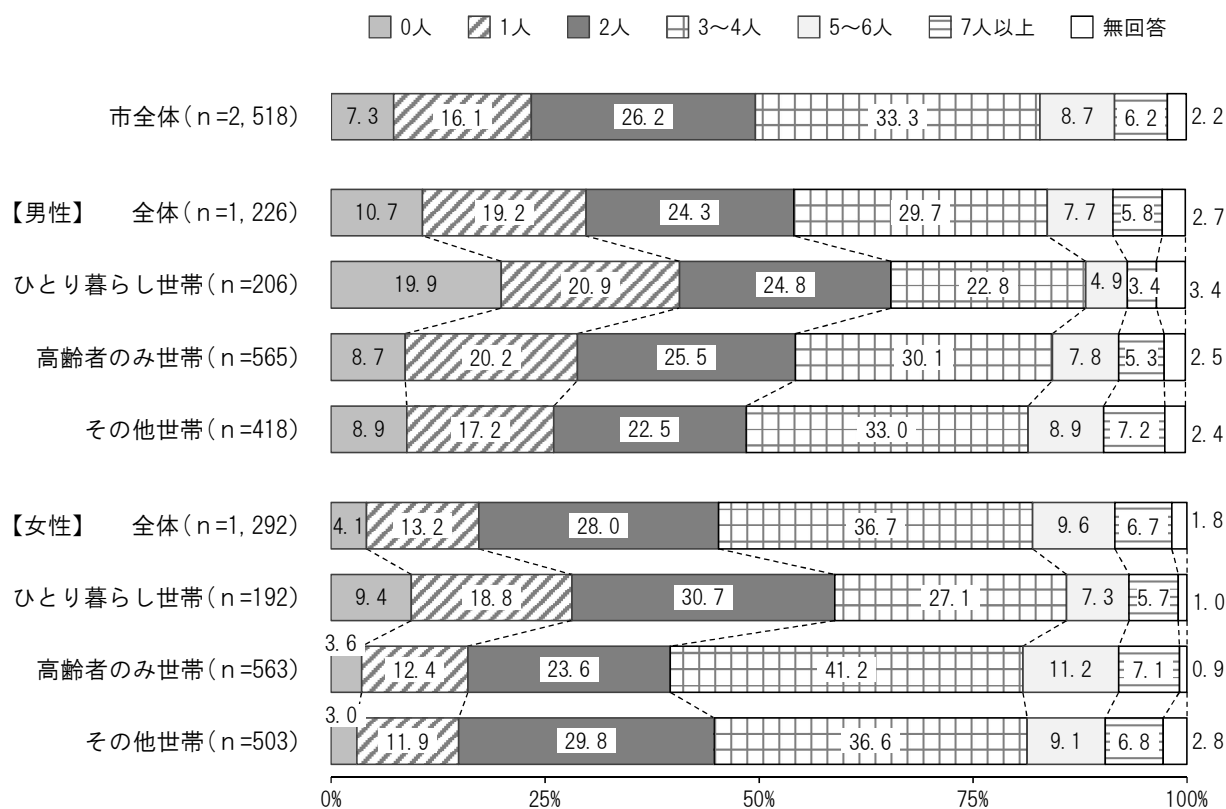


6 問 17 あなたが、個人的なことでも気兼ねなく話することができる親戚や兄弟

個人的なことを話せる親戚や兄弟の人数は、市全体では「3～4人」が33.3%で最も高く、次いで「2人」が26.2%、「1人」が16.1%となっています。

性別・家族構成別にみると、「0人」は男性のひとり暮らし世帯で19.9%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

図 4.24 個人的なことを話せる親戚や兄弟の人数（性別・家族構成別）

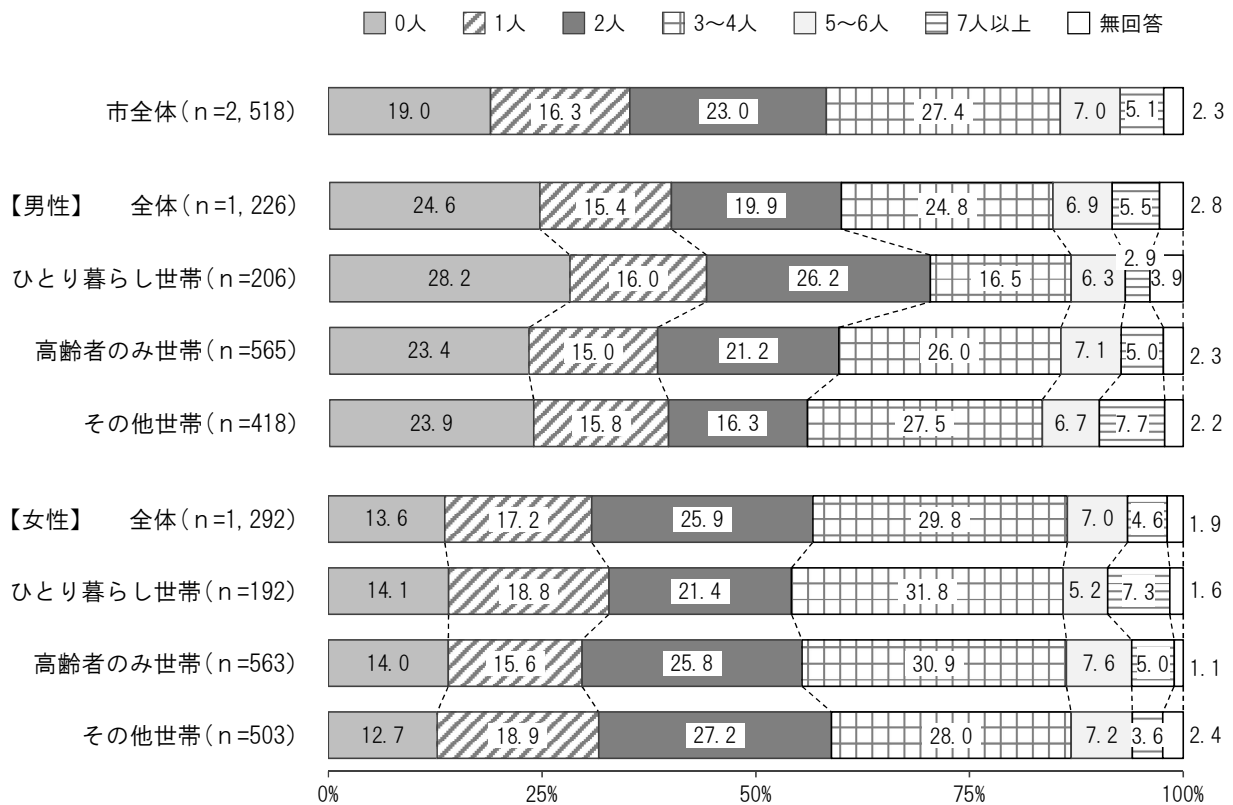


6-問18 あなたが、個人的なことでも気兼ねなく話することができる友人

個人的なことを気兼ねなく話せる友人の人数は、市全体では「3～4人」が27.4%で最も高く、次いで「2人」が23.0%、「0人」が19.0%となっています。

性別・家族構成別にみると、「0人」は全ての家族構成で男性が女性を上回っており、男性のひとり暮らし世帯では28.2%となっています。

図 4.25 個人的なことを話せる友人の人数（性別・家族構成別）

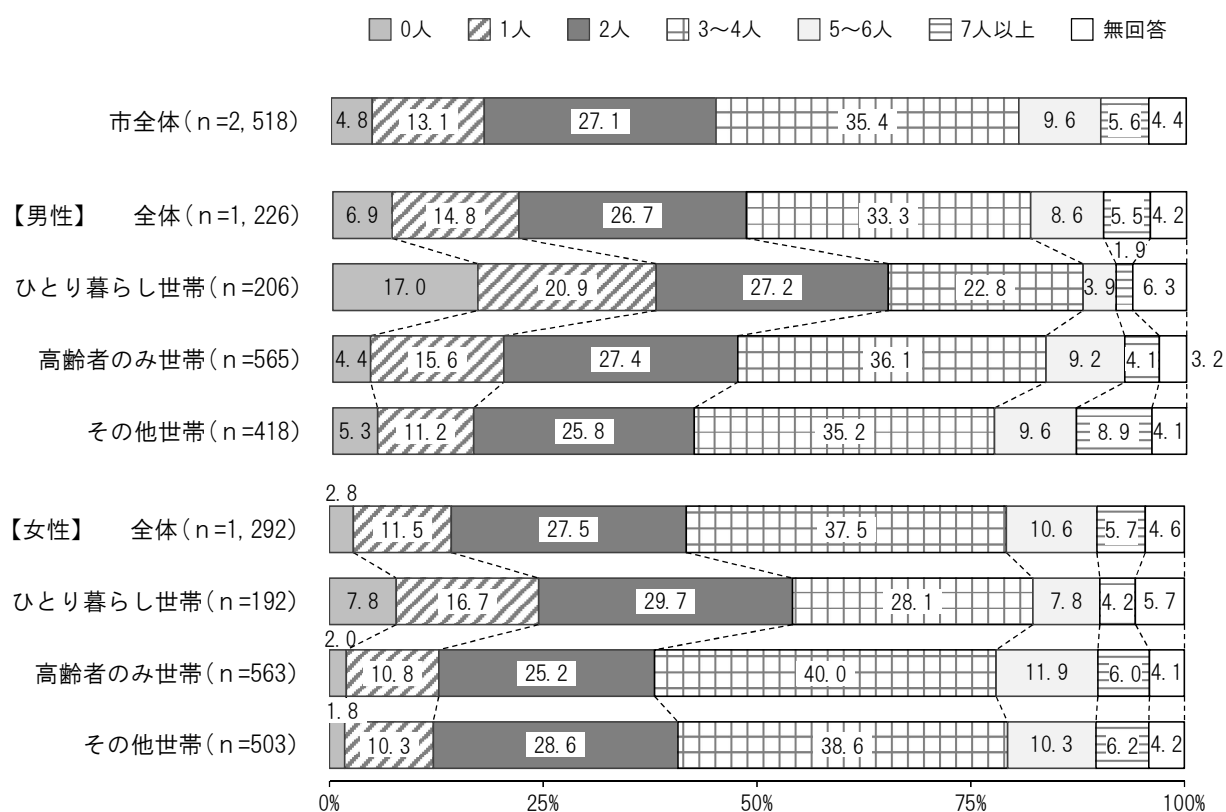


6-問 19 あなたが助けを求めることができるくらい、身近に感じる親戚や兄弟

助けを求めることができる身近な親戚や兄弟の人数は、市全体では「3～4人」が35.4%で最も高く、次いで「2人」が27.1%、「1人」が13.1%となっています。

性別・家族構成別にみると、「0人」は男女ともにひとり暮らし世帯が他の家族構成と比べて高く、男性で17.0%、女性で7.8%となっています。

図 4.26 助けを求めるくらい身近な親戚や兄弟の人数（性別・家族構成別）

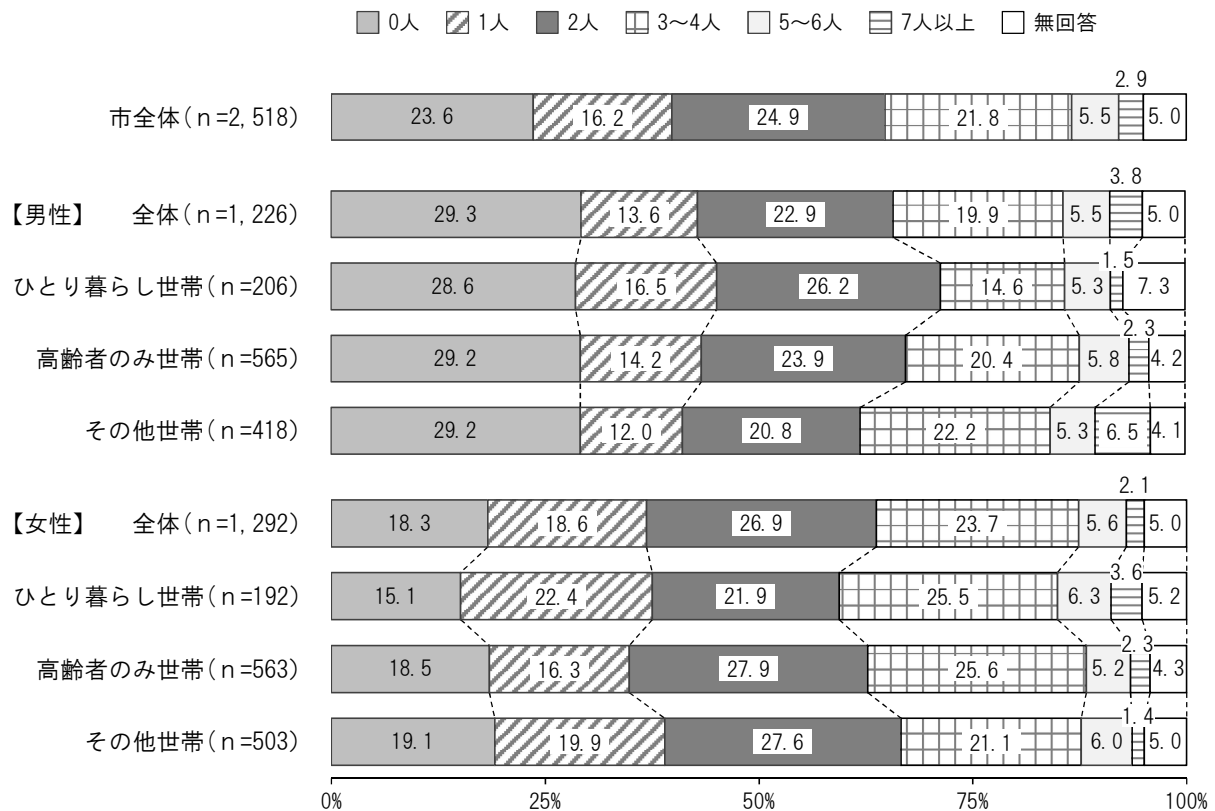


6 一問 20 あなたが助けを求めることができるくらい、身近に感じる友人

助けを求めることができる身近な友人の人数は、市全体では「2人」が24.9%で最も高く、次いで「0人」が23.6%、「3～4人」が21.8%となっています。

性別・家族構成別にみると、「0人」はすべての家族構成で男性が女性を上回っています。一方で、「1人」はすべての家族構成で女性が男性を上回っています。

図 4.27 助けを求めるくらい身近な友人の人数（性別・家族構成別）

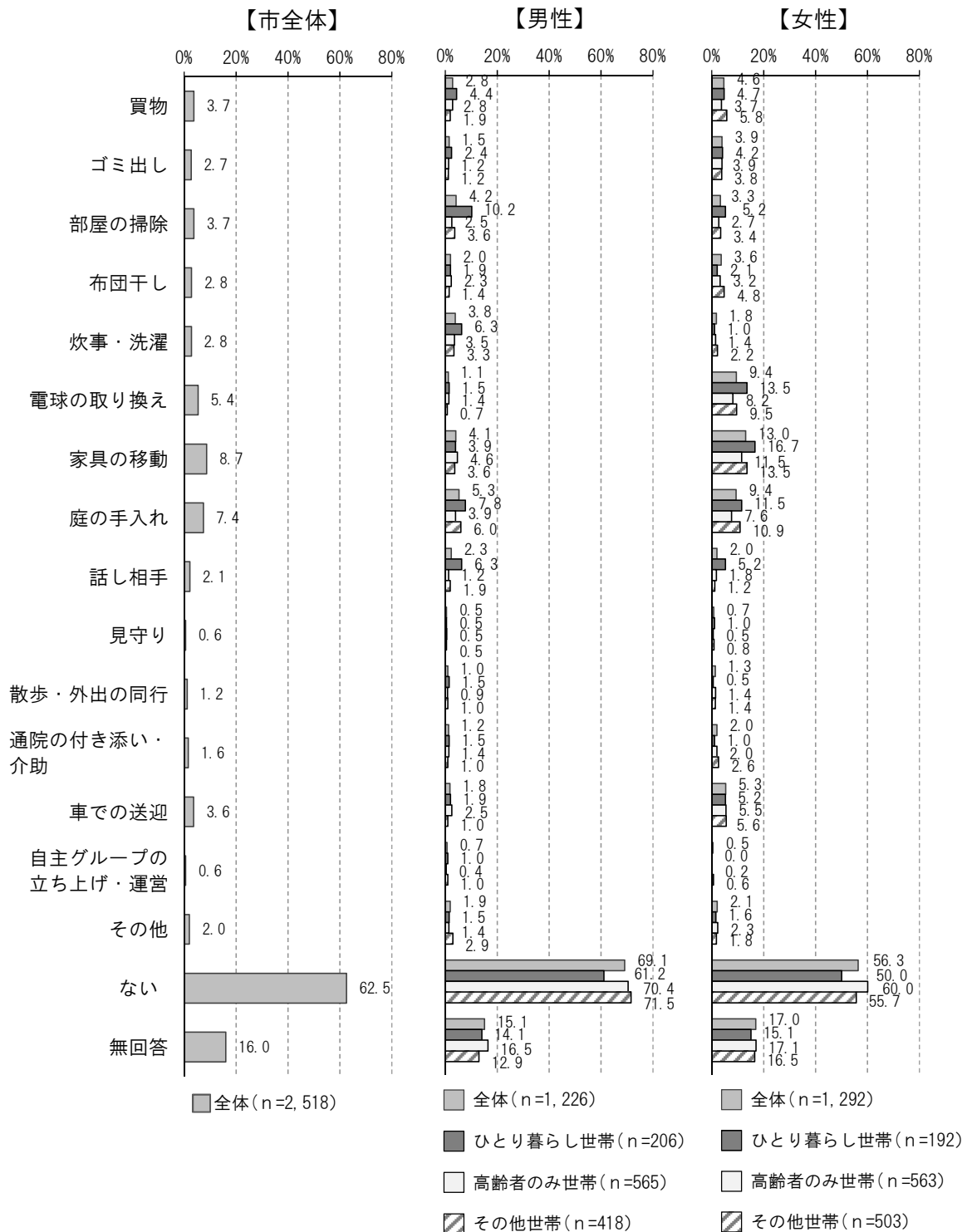


6 一問 21 日常生活で手助けをしてほしいことはありますか。※○はいくつでも

日常生活で手助けをしてほしいことは、市全体では「家具の移動」が8.7%で最も高く、次いで「庭の手入れ」が7.4%となっています。「ない」は62.5%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性のひとり暮らし世帯では「部屋の掃除」が10.2%、女性のひとり暮らし世帯では「家具の移動」が16.7%と最も高くなっています。

図 4.28 日常生活で手助けをしてほしいこと（性別・家族構成別）



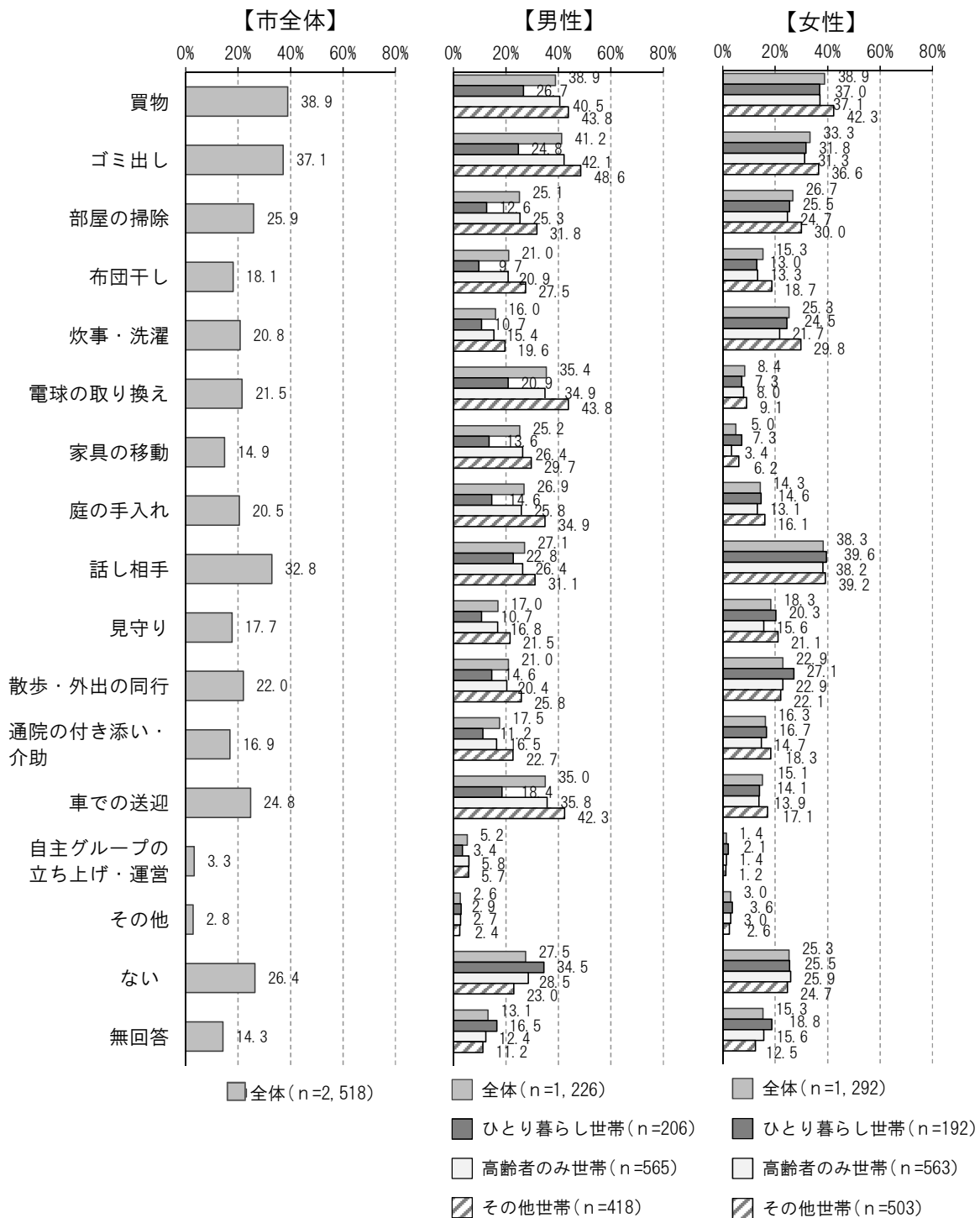
6 一問 22 日常生活で誰かの手助けができることはありますか。

※〇はいくつでも

日常生活で誰かの手助けとしてできることは、市全体では「買物」が38.9%で最も高く、次いで「ゴミ出し」が37.1%、「話し相手」が32.8%となっています。「ない」は26.4%となっています。

性別・家族構成別にみると、男性はその他世帯の「ゴミ出し」が48.6%で最も高く、女性はその他世帯の「買物」が42.3%と最も高くなっています。

図 4.29 日常生活で手助けできること（性別・家族構成別）



6 地域での活動について

問1から問7について、以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

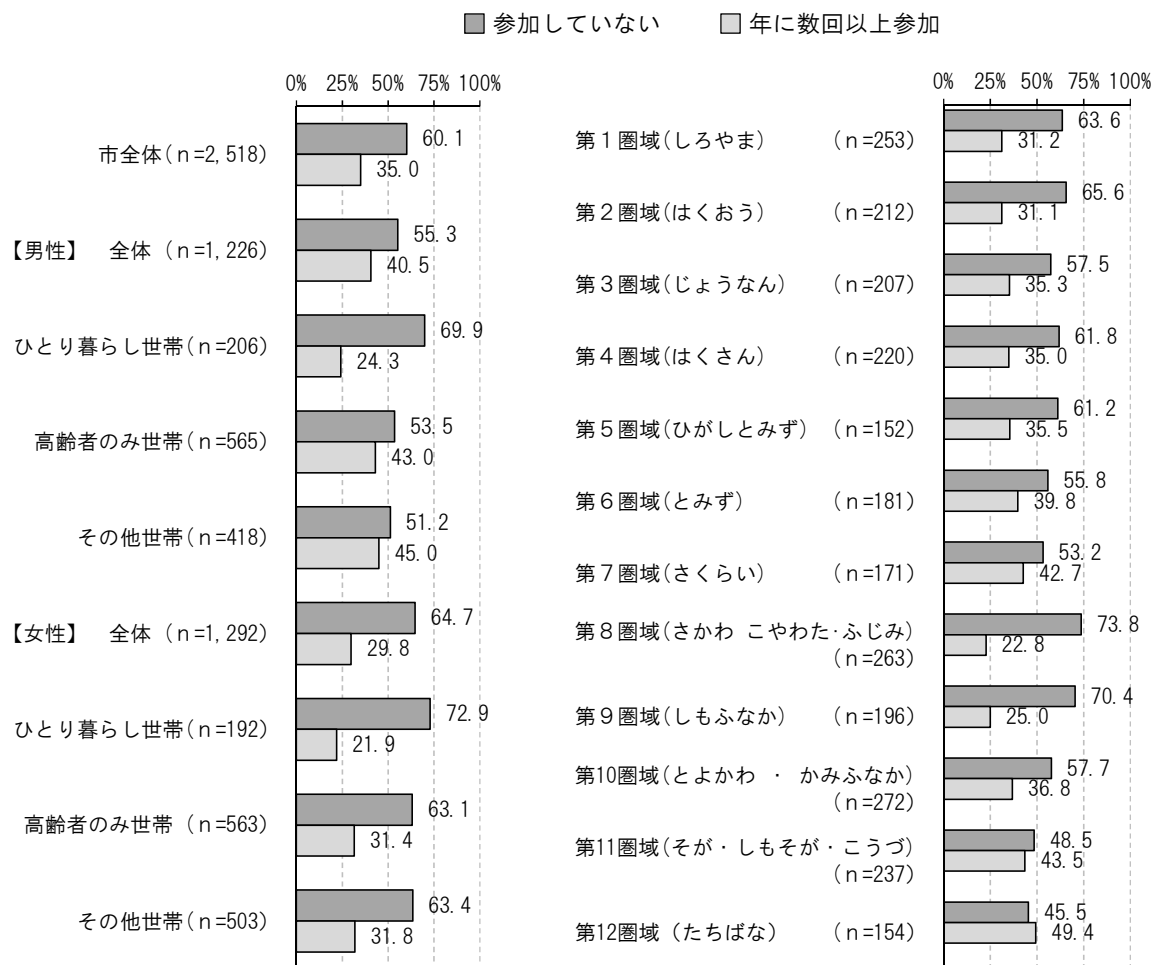
7-問1 自治会

自治会の参加頻度について、市全体では「参加していない」が60.1%、「年に数回以上参加」が35.0%となっています。

性別・家族構成別にみると、全体では「参加していない」は女性が男性を上回り、家族構成別では女性のひとり暮らし世帯が72.9%と、他と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）が73.8%、「年に数回以上参加」は第12圏域（たちばな）が49.4%と、最も高くなっています。また、第12圏域（たちばな）は12圏域中唯一、「年に数回以上参加」が「参加していない」を上回っています。

図 4.30 自治会の参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2〜3回」、「週1回」、「月1〜3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

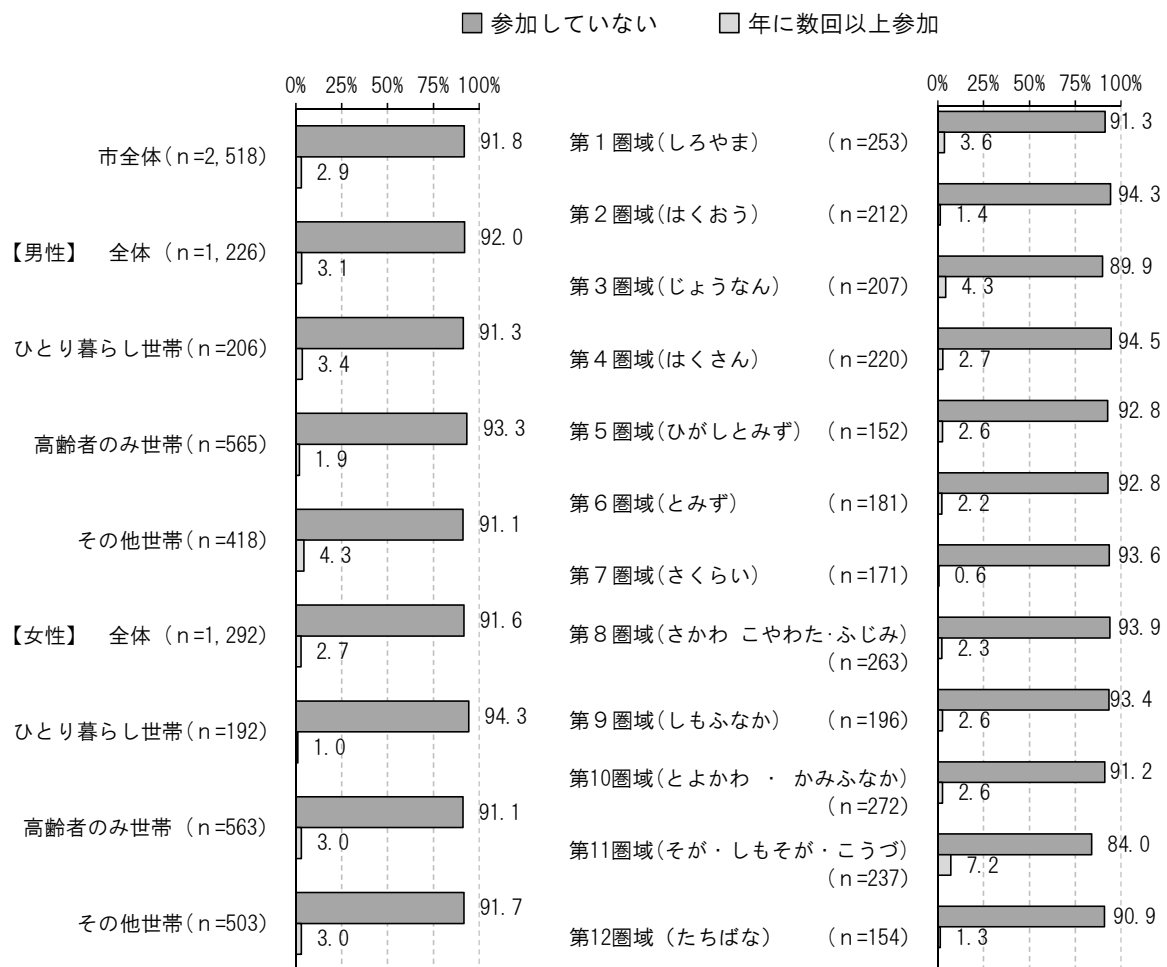
7-問2 老人会、老人(高齢者)クラブ

老人会、老人(高齢者)クラブの参加頻度は、市全体では「参加していない」が91.8%、「年に数回以上参加」が2.9%となっています。

性別・家族構成別にみても、大きな差はみられません。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第4圏域(はくさん)が94.5%、「年に数回以上参加」は第11圏域(そが・しもそが・こうづ)が7.2%となっており、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.31 老人会、老人(高齢者)クラブの参加頻度(性別・家族構成別/日常生活圏域別)



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2〜3回」、「週1回」、「月1〜3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

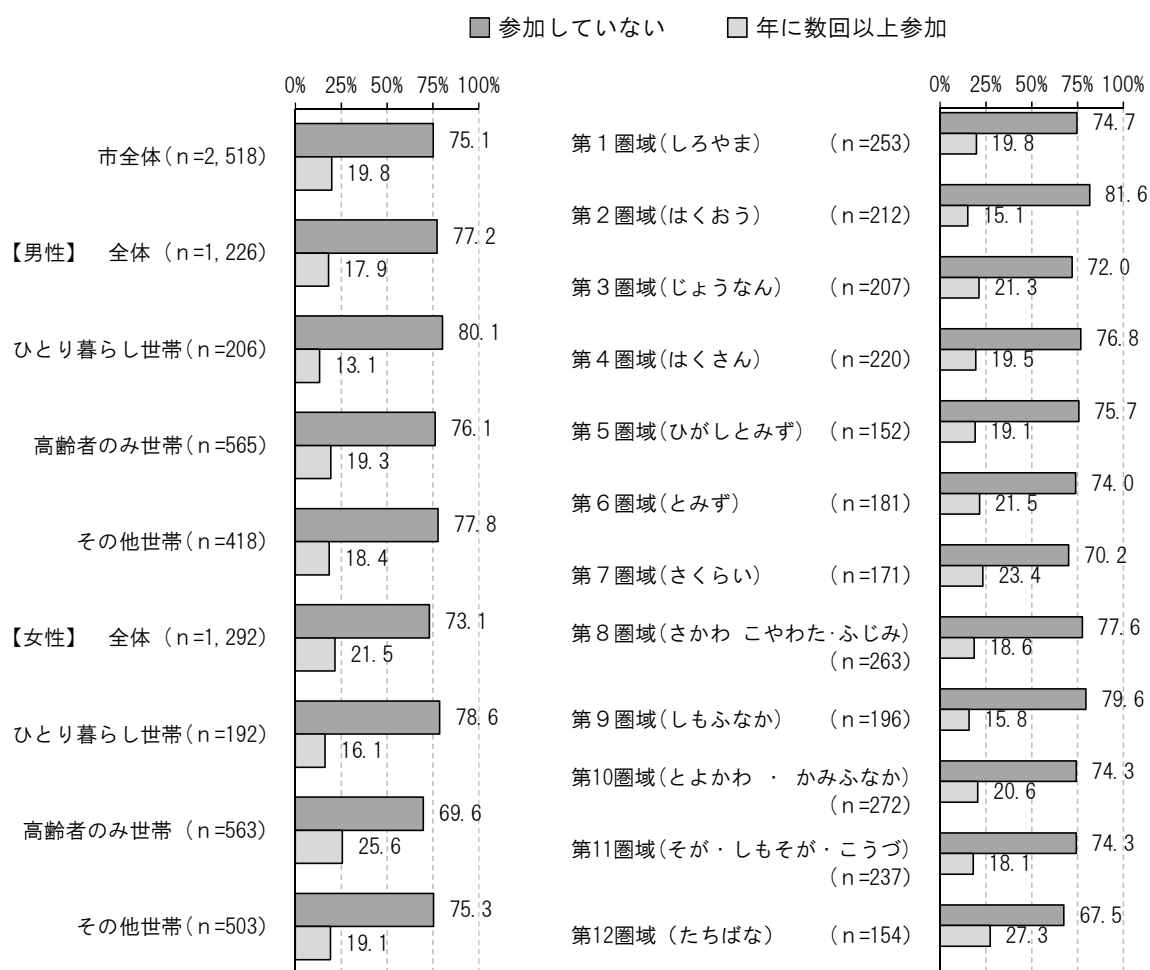
7-問3 趣味のサークルや団体

趣味のサークルや団体の参加頻度は、市全体では「参加していない」が75.1%、「年に数回以上参加」が19.8%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は、男女ともにひとり暮らし世帯が他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第2圏域（はくおう）が81.6%、「年に数回以上参加」は第12圏域（たちばな）が27.3%となっており、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.32 趣味のサークルや団体の参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

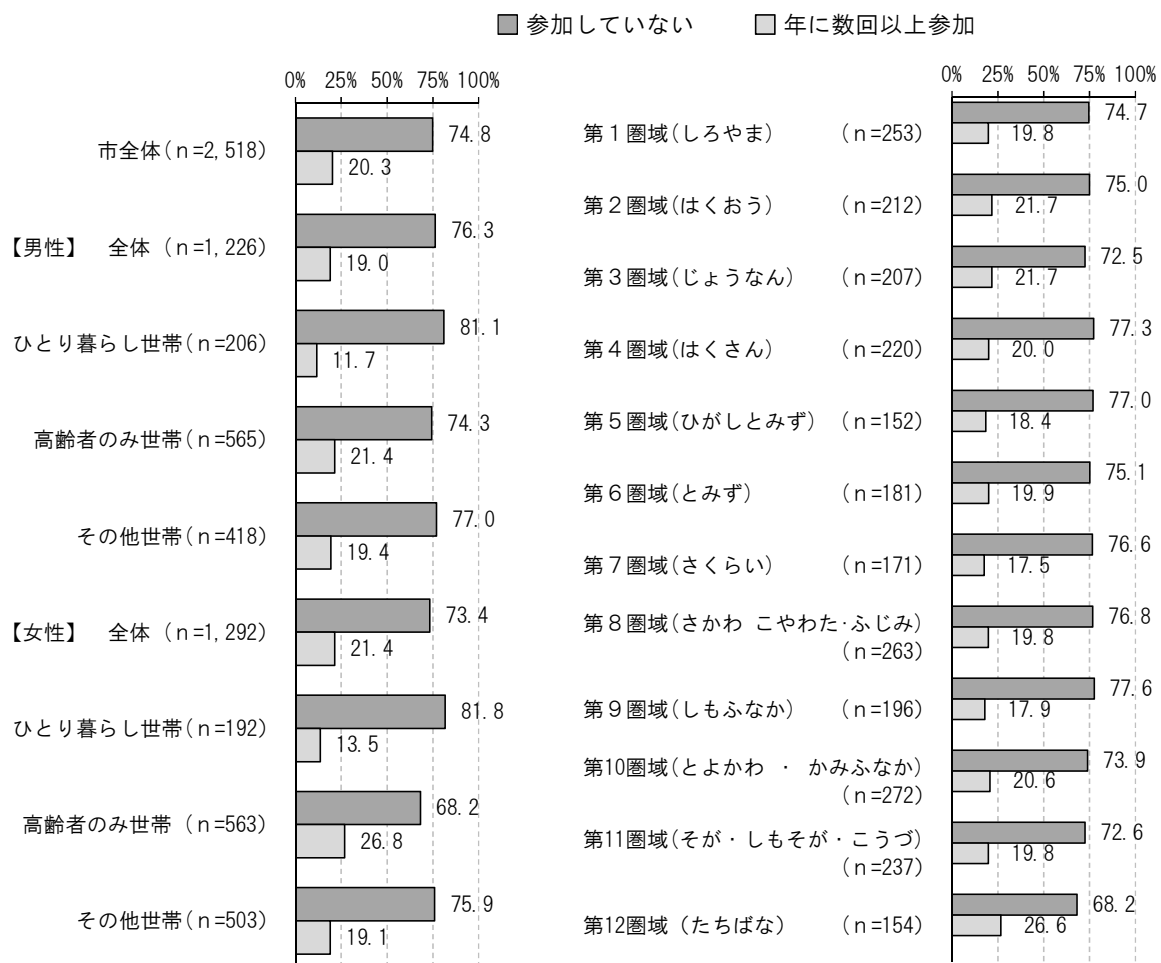
7-問4 スポーツのサークルや団体

スポーツのサークルや団体への参加頻度は、市全体では「参加していない」が74.8%、「年に数回以上参加」が20.3%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は女性のひとり暮らし世帯が81.8%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第9圏域（しもふなか）が77.6%、「年に数回以上参加」は第12圏域（たちばな）が26.6%となっており、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.33 スポーツのサークルや団体の参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

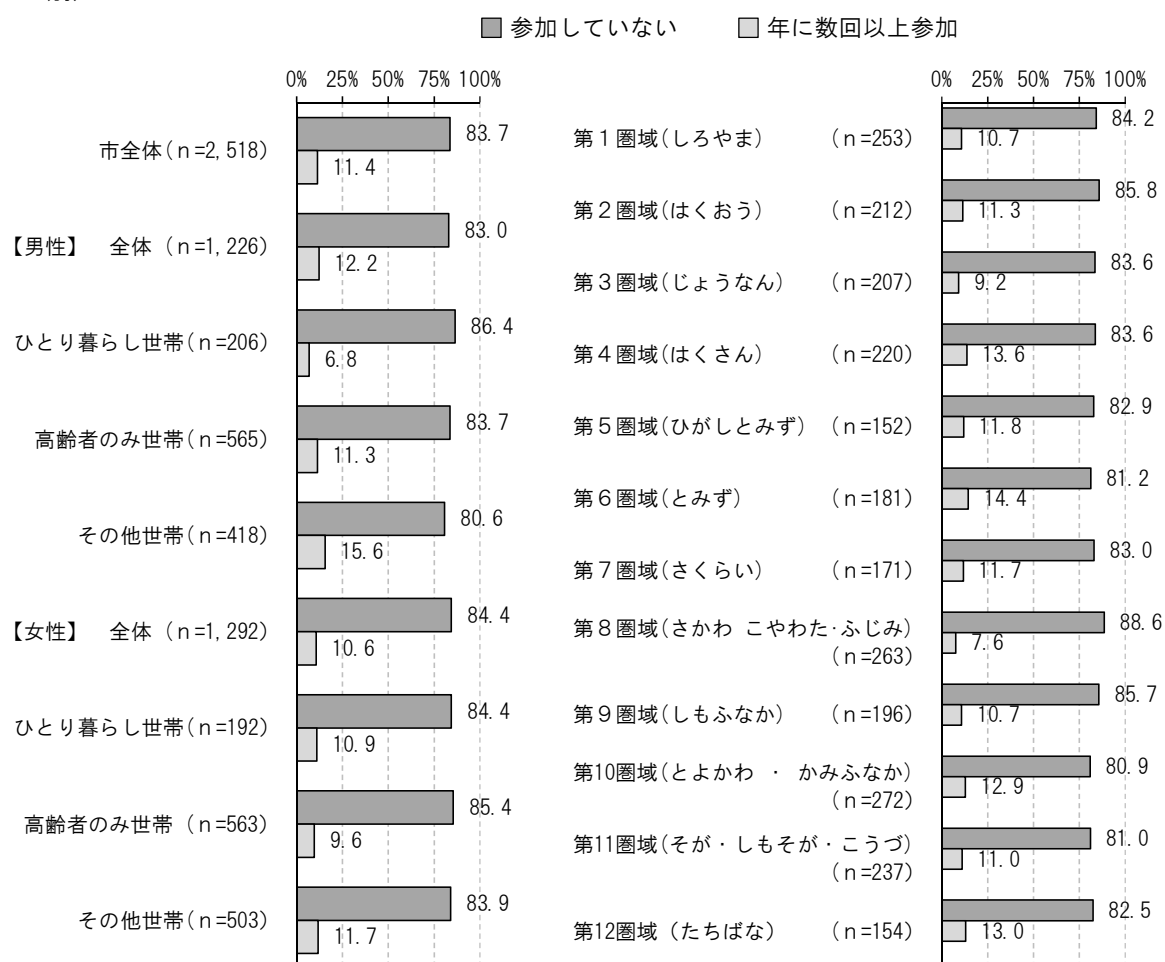
7-問5 ボランティア団体や市民活動団体・NPO

ボランティア団体や市民活動団体・NPOの参加頻度は、市全体では「参加していない」が83.7%、「年に数回以上参加」が11.4%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は男性のひとり暮らし世帯が86.4%となっており、他の家族構成と比べてやや高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）が88.6%、「年に数回以上参加」は第6圏域（とみず）が14.4%となっており、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.34 ボランティア団体や市民活動団体・NPOの参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

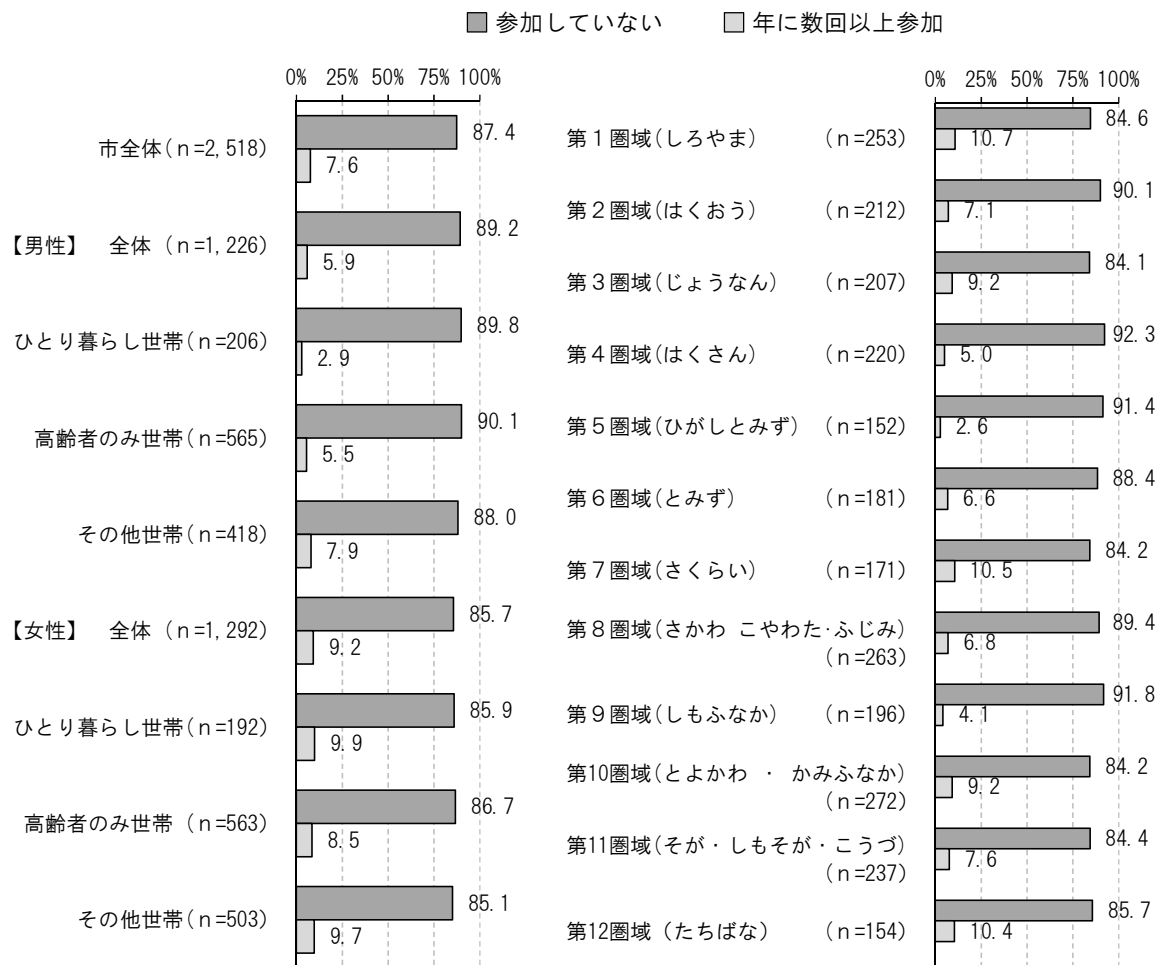
7-問6 学習・教養関係の団体やサークル

学習・教養関係の団体やサークルの参加頻度は、市全体では「参加していない」が87.4%、「年に数回以上参加」が7.6%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は男性の高齢者のみ世帯が90.1%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第4圏域（はくさん）が92.3%、「年に数回以上参加」は第1圏域（しろやま）が10.7%となっており、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.35 学習・教養関係の団体やサークルの参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

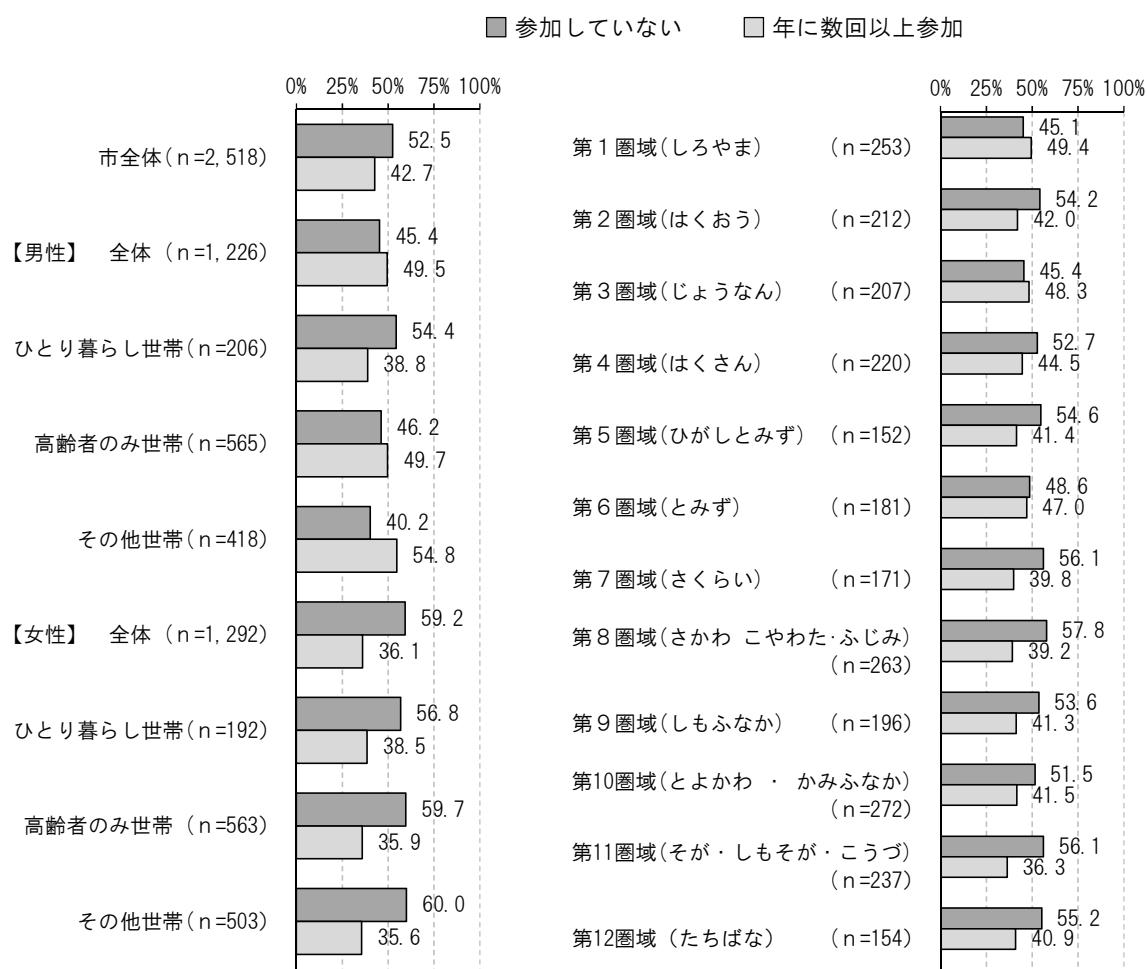
7-問7 収入のある仕事

収入のある仕事の頻度は、市全体では「参加していない」が52.5%、「年に数回以上参加」が42.7%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加していない」は女性のその他世帯が60.0%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、「参加していない」は第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）が57.8%、「年に数回以上参加」は第1圏域（しろやま）が49.4%となっており、他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.36 収入のある仕事の参加頻度（性別・家族構成別/日常生活圏域別）



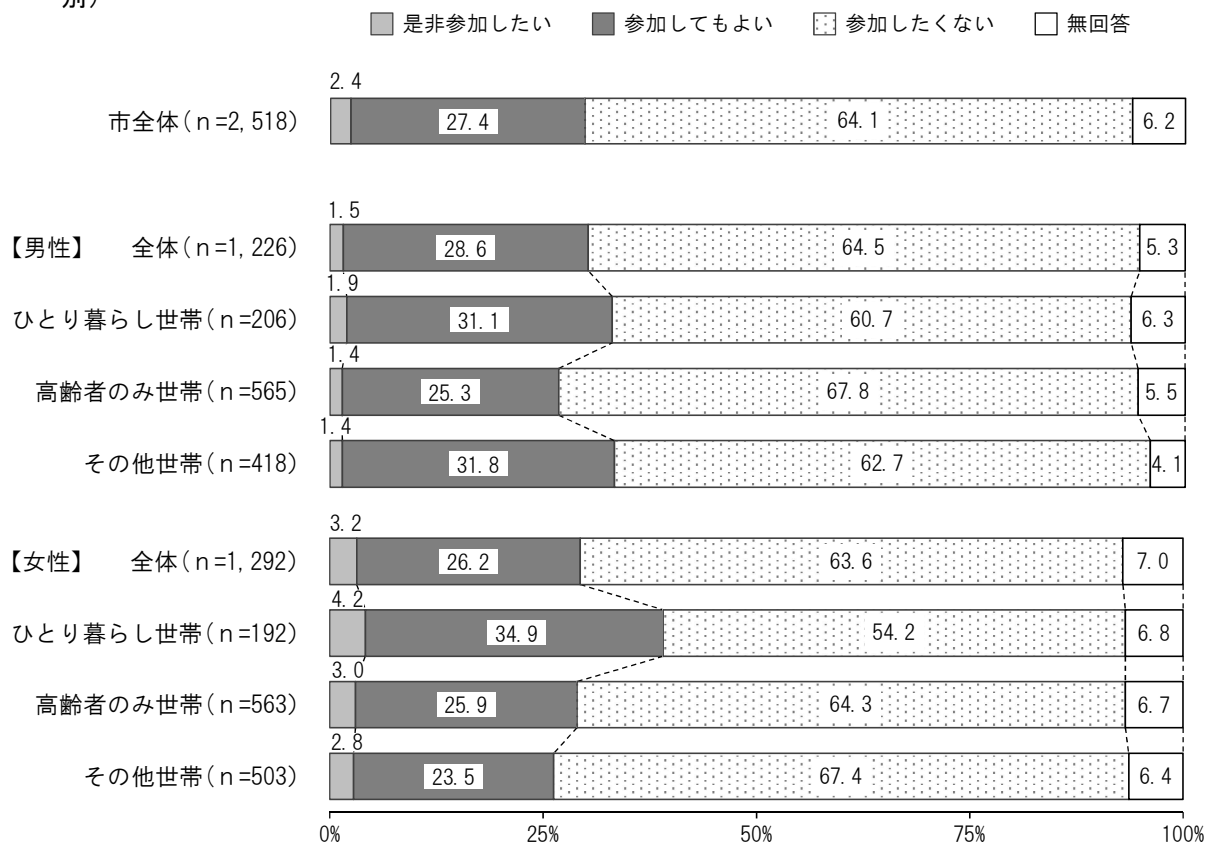
※「年に数回以上参加」は「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の割合を合わせたもの

7-問8 健康づくり活動や趣味等のグループ活動などの企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

健康づくり活動や趣味等のグループ活動の世話役としての参加意向は、市全体では「参加したくない」が64.1%、「参加してもよい」「是非参加したい」を合わせた『参加希望』の割合が29.8%となっています。

性別・家族構成別にみると、「参加したくない」は男性の高齢者のみ世帯が67.8%、『参加希望』の割合は女性のひとり暮らし世帯が39.1%となっており、他の家族構成と比べて高くなっています。

図 4.37 健康づくり活動や趣味等のグループ活動の世話役としての参加意向（性別・家族構成別）



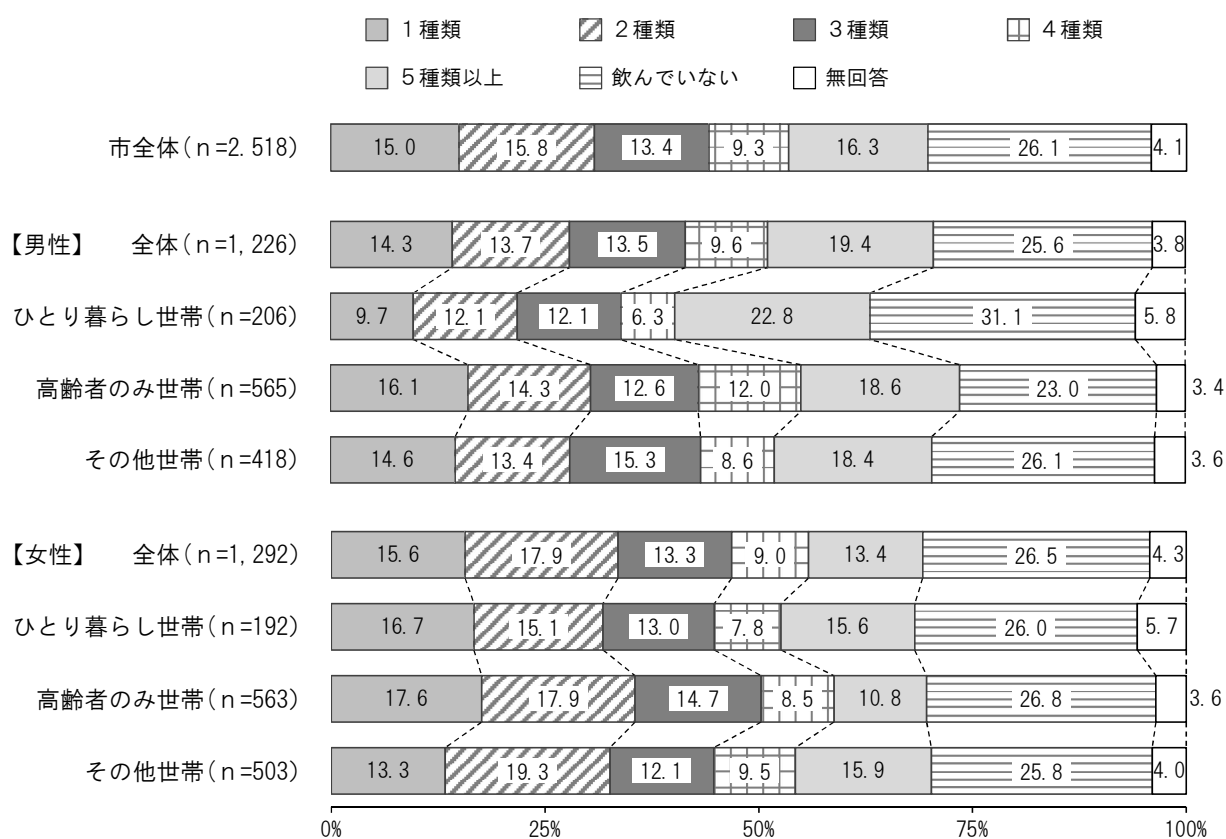
7 健康について

8-問1 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

医師の処方した薬を何種類飲んでいるかについて、市全体では「5種類以上」が16.3%、「2種類」が15.8%となっていますが、最も高いのは「飲んでいない」で26.1%となっています。

飲んでいる薬の種類を性別・家族構成別にみると、男性はひとり暮らし世帯の「5種類以上」が22.8%、女性はその他世帯の「2種類」が19.3%と、最も高くなっています。

図 4.38 薬の服用状況（性別・家族構成別）

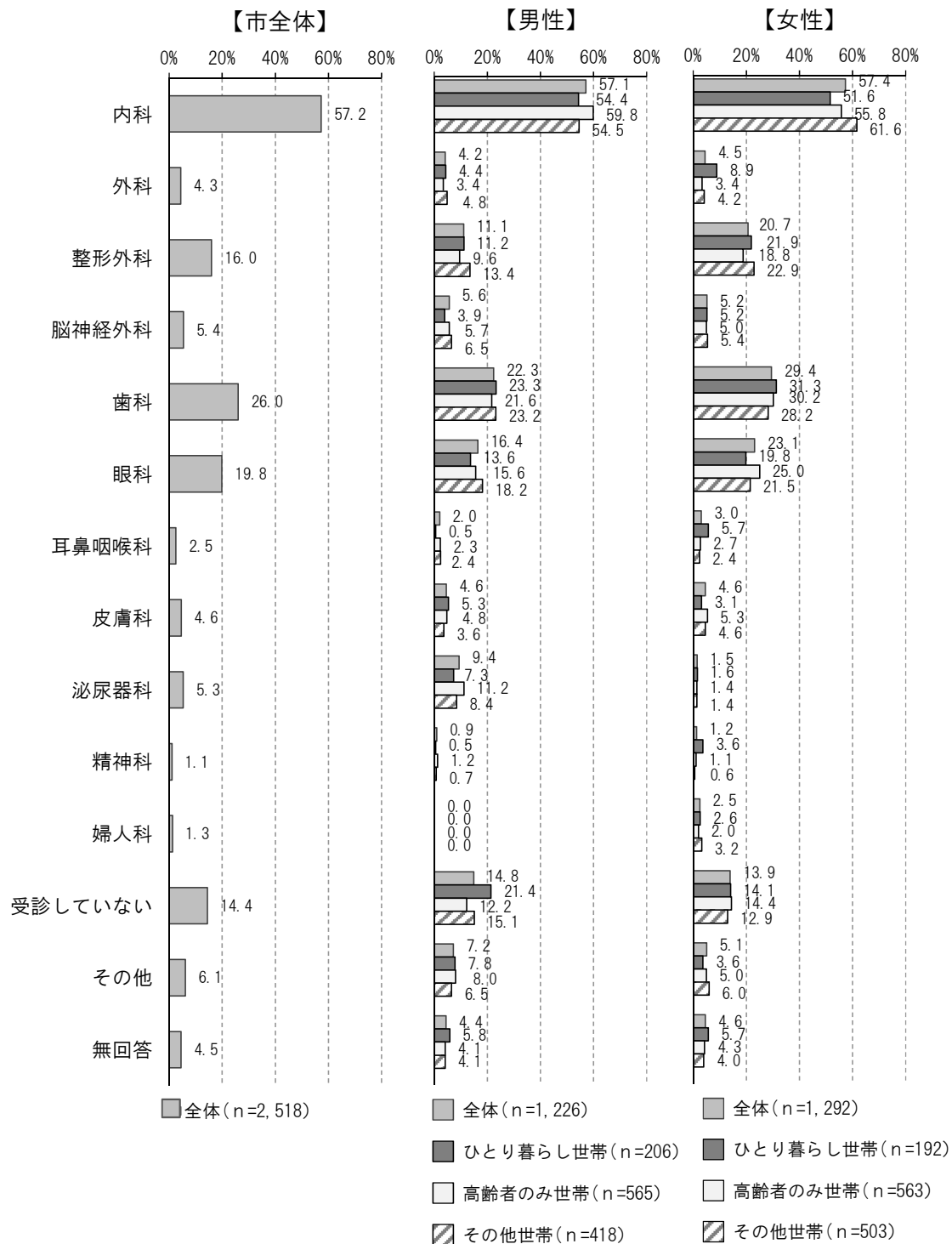


8-問2 現在、定期的に受診している診療科はありますか。※〇はいくつでも

定期的に受診している診療科は、市全体では「内科」が57.2%で最も高く、次いで「歯科」が26.0%となっています。

性別・家族構成別にみると、「内科」は男性の高齢者のみ世帯が59.8%、女性のその他世帯が61.6%となっています。「歯科」はひとり暮らし世帯が最も高く、男性が23.3%、女性が30.2%となっています。

図 4.39 定期的に受診している診療科（性別・家族構成別）



8 小田原市で実施していることについて

9 問1 市が開催している介護予防教室（65歳からの筋トレ教室や食で生き生き！栄養教室など）があることを知っていますか。

介護予防教室の認知度は、市全体では「知っているし、参加したことがある」が5.5%、「知っているが、参加したことはない」が30.9%となり、両者を合わせた『認知度』は36.4%となっています。

性別・家族構成別にみると、女性の『認知度』はすべての家族構成において、男性を大きく上回っています。

日常生活圏域別にみると、『認知度』は第7圏域（さくらい）が41.0%と最も高く、第2圏域（はくおう）が31.1%と最も低くなっています。

図 4.40 介護予防教室の認知度（性別・家族構成別）

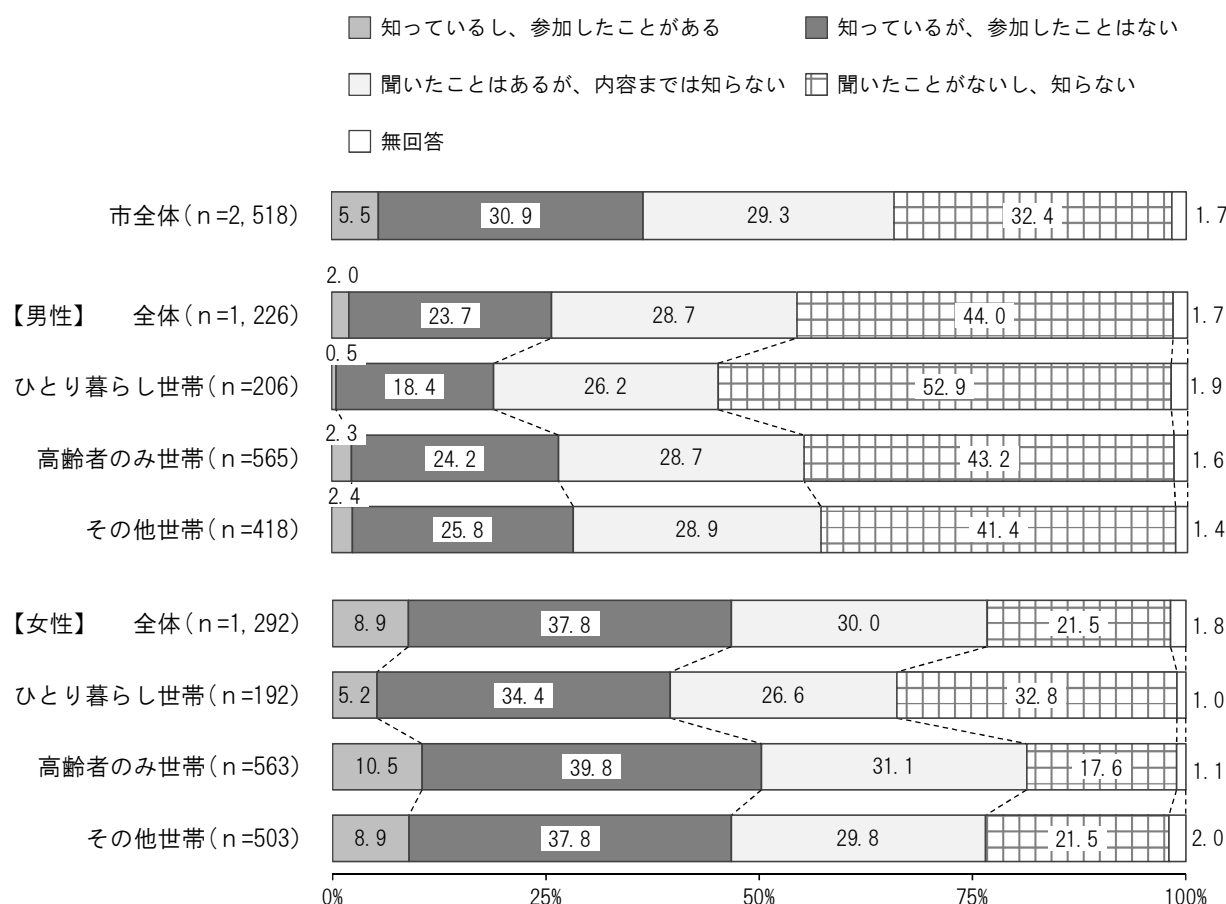
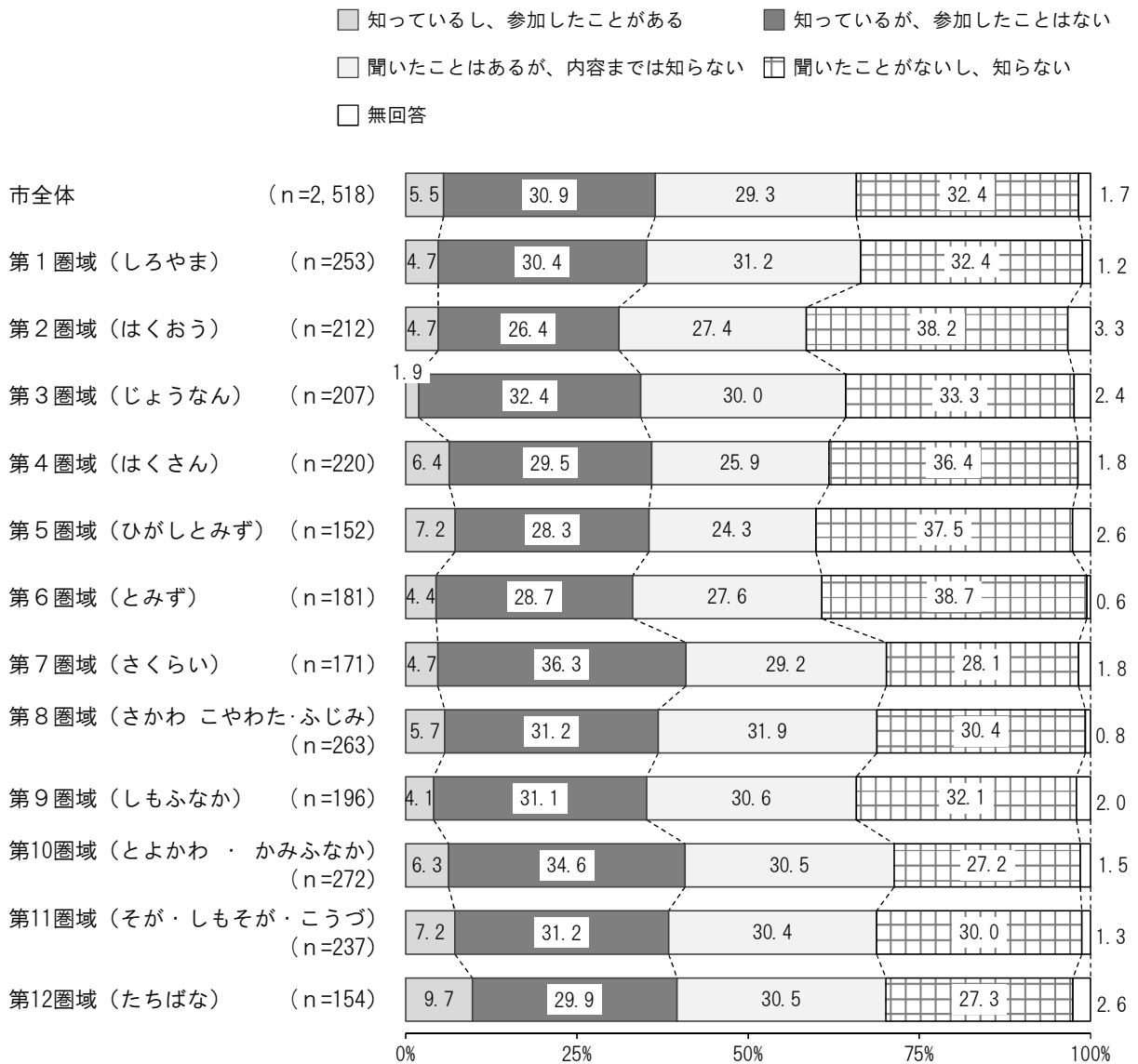


図 4.41 介護予防教室の認知度（日常生活圏域別）



9－問2 介護予防の各種教室に参加したいと思いますか。

介護予防教室の参加意向は、市全体では「是非参加したい」が1.7%、「機会があれば参加したい」が45.4%となり、両者を合わせた『参加希望』は47.1%となっています。

性別・家族構成別にみると、『参加希望』は男性はすべて40%程度、女性はすべて50%を超えており、女性の方が10ポイント以上高くなっています。一方で「参加したくない」は、男性は高齢者のみ世帯が57.7%、女性はその他世帯が45.1%と、他の家族構成と比べてやや高くなっています。

日常生活圏域別にみると、『参加希望』は、第12圏域（たちばな）が55.2%と最も高く、第2圏域（はくおう）が40.6%と最も低くなっています。

図 4.42 介護予防教室の参加意向（性別・家族構成別）

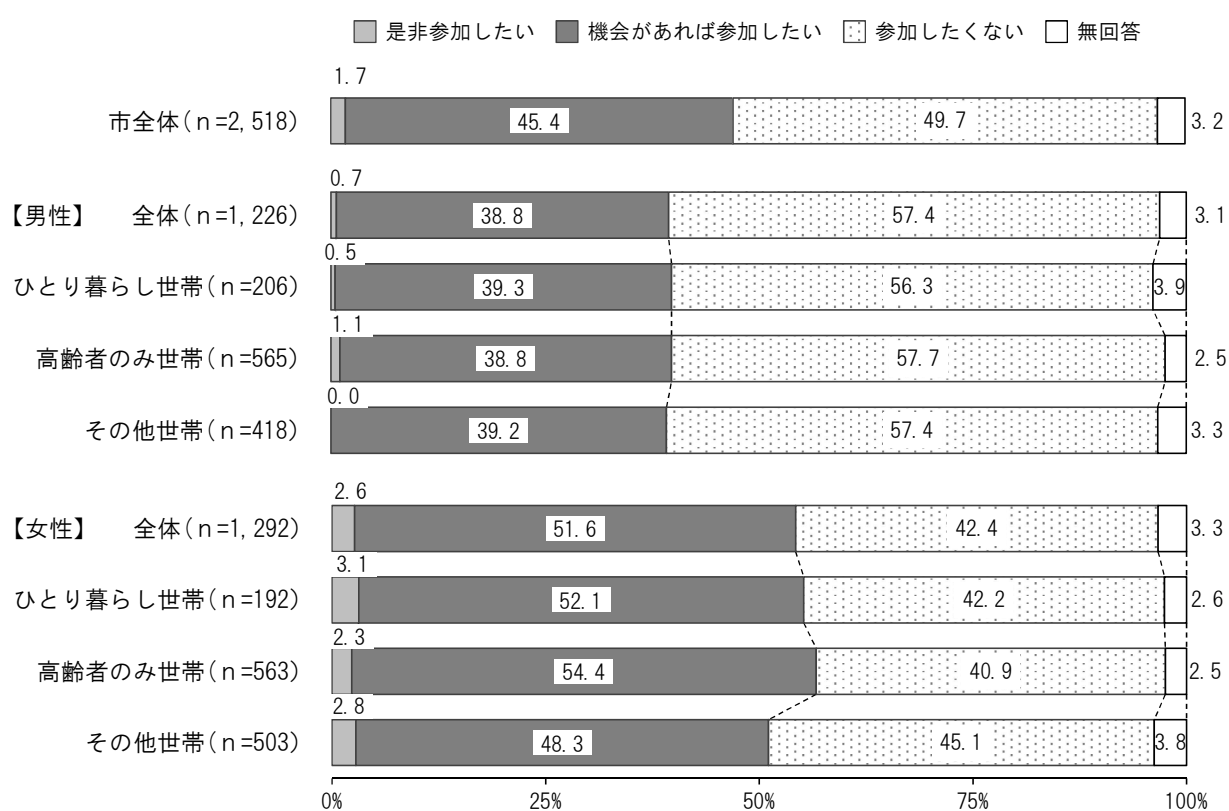
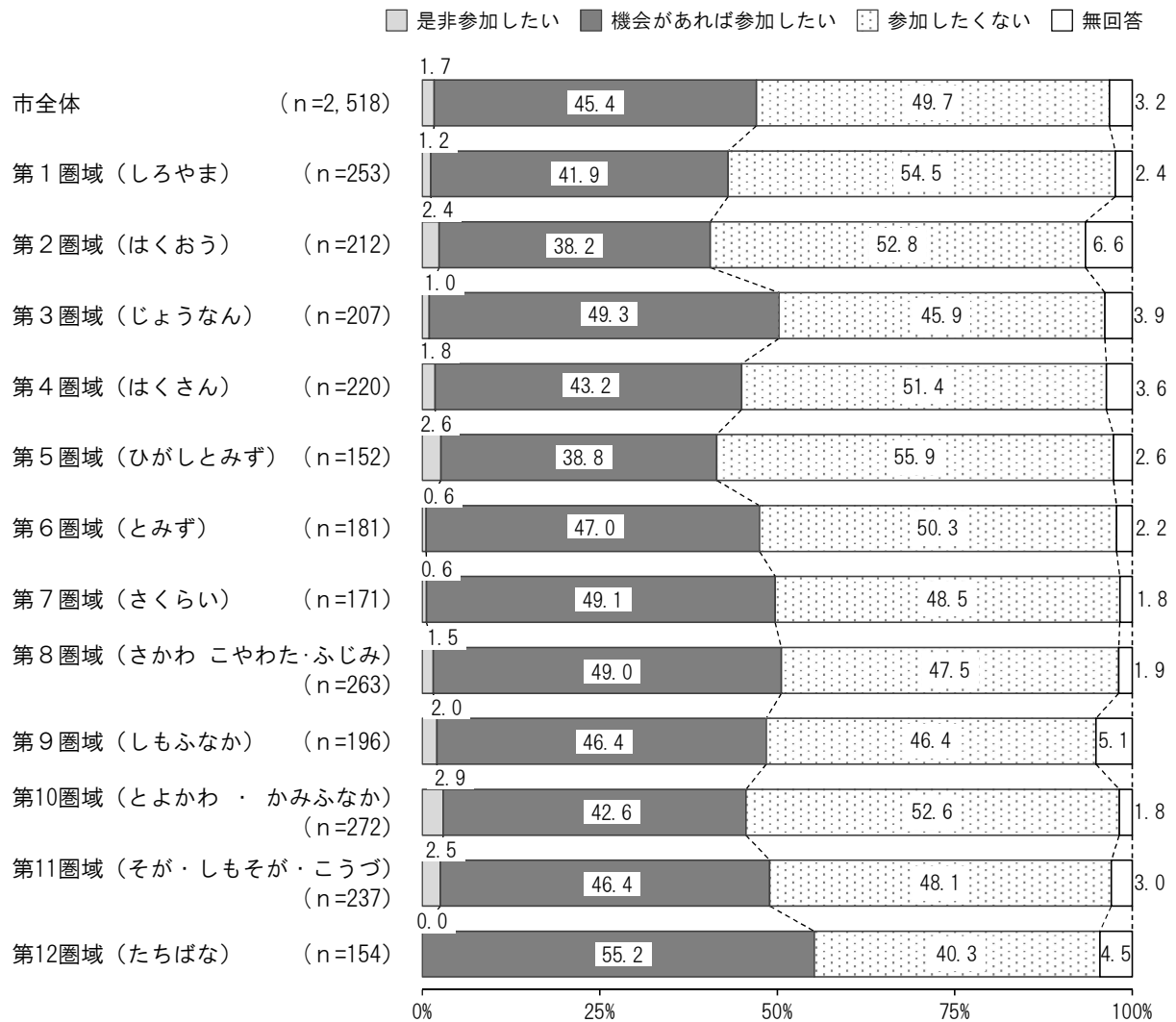


図 4.43 介護予防教室の参加意向（日常生活圏域別）



9-問3 地域包括支援センターを知っていますか。

地域包括支援センターの認知度は、市全体では「名前を知っているし、業務内容も大体知っている」が15.8%、「名前を知っているし、業務内容も少しは知っている」が21.1%となり、両者を合わせた『認知度』は36.9%となっています。

性別・家族構成別にみると、女性の『認知度』はすべての家族構成で男性を上回っており、40%を超えています。

日常生活圏域別にみると、『認知度』は第1圏域（しろやま）が43.9%と最も高く、第9圏域（しもふなか）が30.1%と最も低くなっています。

図 4.44 地域包括支援センターの認知度（性別・家族構成別）

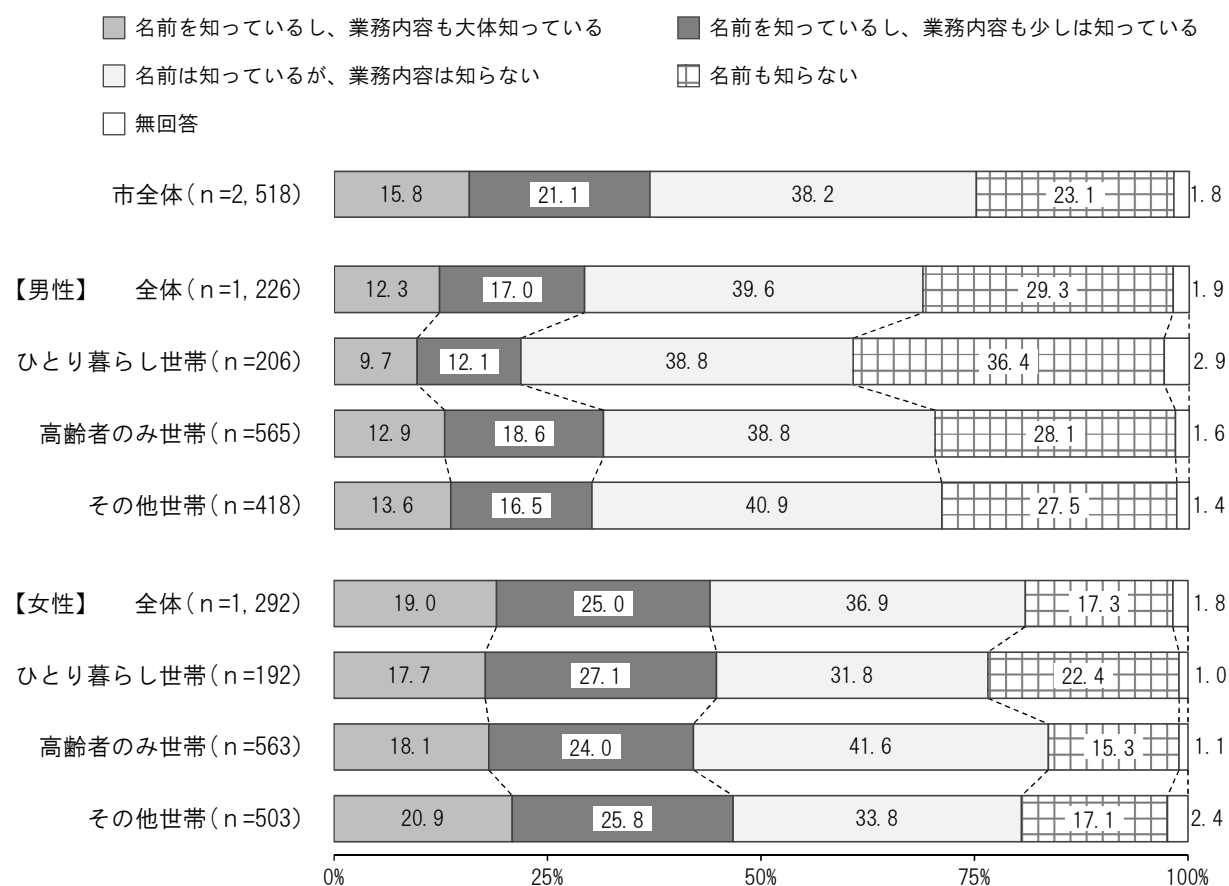


図 4.45 地域包括支援センターの認知度（日常生活圏域別）

